

令和元年(2019)9月25日
全 員 協 議 会 室

市議会全員協議会

〔報 告〕

1. 新体育館建設基本計画の策定について（文1） （市民文化部）

新体育館建設基本計画の策定について

新体育館の規模・機能など基本的な考え方を示す『新体育館建設基本計画』については、平成30年10月22日出雲市スポーツ振興審議会（会長 今岡一朗）に諮問しました。

このたび、同審議会から答申があり、この答申を尊重し、『新体育館建設基本計画』を下記のとおり策定しましたので報告します。

記

1 新体育館建設基本計画について

(1)策定の経過

平成30年10月22日	第1回出雲市スポーツ振興審議会（諮問）
11月	市体協加盟団体説明会、市民説明会
～12月	市民意見募集
11月30日	第2回出雲市スポーツ振興審議会（現地視察）
12月18日	第3回出雲市スポーツ振興審議会
平成31年 2月 6日	第4回出雲市スポーツ振興審議会
3月26日	第5回出雲市スポーツ振興審議会
4月24日	第1回出雲市スポーツ振興審議会
令和元年 5月29日	第2回出雲市スポーツ振興審議会
7月 3日	パブリックコメント（資料1）
～	※募集期間：7月3日～8月1日
	※提出者数 47人（2団体含む） 意見数 131件
8月20日	第3回出雲市スポーツ振興審議会
8月22日	出雲市スポーツ振興審議会から答申

(2)新体育館建設基本計画（資料2, 3）

別添のとおり

(3)事業手法について：PFI等導入可能性調査業務中間報告の概要（資料4）

- ① 「VFM」の検討において、従来手法以外のPFI等の手法において6%～8%程度の結果がでており、市の財政負担の軽減が期待できる。
 - ② DBO・PFI手法は、設計・施工と運営を一括で発注することにより、より質の高いサービスが提供され、供用開始時からスムーズな維持管理運営が図られる。
 - ③ PFI手法では、金融機関によるモニタリング（監視機能）が働き事業が安定的に継続される。
 - ④ PFI手法では、民間資金を活用することから、市の財政負担の平準化が図られる。
- 以上のことなどから新体育館を整備する手法としてPFI手法が適しているとの報告がありました。今後、この調査結果を踏まえ、新体育館の事業手法を最終決定していく考えです。

2 新体育館整備に係るこれまでの経過について（資料5）

新体育館建設基本計画策定経過

	開催日	主な内容
(平成30年度) 第1回審議会	平成30年10月22日	<ol style="list-style-type: none"> 1 審議会臨時委員の委嘱 2 諮問 3 これまでの経過について 4 新体育館建設基本計画（素案）について 5 審議会のスケジュールについて
第2回審議会	平成30年11月30日	<ol style="list-style-type: none"> 1 現地視察 <ol style="list-style-type: none"> ①松江市総合体育館 ②県立浜山体育館
第3回審議会	平成30年12月18日	<ol style="list-style-type: none"> 1 新体育館建設基本計画（素案）に対する 主な意見の検討について
第4回審議会	平成31年 2月 6日	<ol style="list-style-type: none"> 1 新体育館建設基本計画（修正案）について
第5回審議会	平成31年 3月26日	<ol style="list-style-type: none"> 1 新体育館建設基本計画（案）について 2 PFI手法について 3 審議会のスケジュールについて
(平成31年度) 第1回審議会	平成31年 4月24日	<ol style="list-style-type: none"> 1 新体育館建設基本計画（修正案）について 2 計画への意見について 3 概算事業費について 4 PFI手法について
第2回審議会	令和元年 5月29日	<ol style="list-style-type: none"> 1 新体育館建設基本計画（案）について <ol style="list-style-type: none"> ①島根県立大学出雲キャンパスとの連携に ついて ②事業手法について ③基本計画全体の内容確認について 2 今後のスケジュールについて
第3回審議会	令和元年 8月20日	<ol style="list-style-type: none"> 1 新体育館建設基本計画（答申案）について

出雲市スポーツ振興審議会委員名簿

No.	役職	氏名	所 属
1	会長	いまおか いちろう 今 岡 一 朗	出雲市体育協会 顧問 ※島根県軟式野球連盟 副会長 ※出雲市観光協会 会長
2	副会長	あんじき こうみ 安 喰 公 美	出雲市体育協会 副会長 ※レクリエーションスポーツ代表
3	委員	あおき としあき 青 木 敏 章	出雲市体育協会 副会長 ※出雲市陸上競技協会 会長
4	委員	うえだ よしひさ 植 田 義 久	出雲市教育委員会 教育部長
5	委員	おおもり まさよし 大 森 正 義	出雲市スポーツ少年団 本部長
6	委員	かねつき やすはる 金 築 康 治	出雲市小学校体育連盟 会長 ※四絡小学校 校長
7	委員	くや あきら 久 家 彰	出雲市生涯学習委員 ※出雲市スポーツ推進委員協議会 会長
8	委員	さの るみ 佐 野 留 美	元出雲市スポーツ推進委員
9	委員	ながい ひろまさ 永 井 宏 昌	出雲市中学校体育連盟 会長 ※湖陵中学校 校長
10	委員	のつ しゅういち 野 津 修 一	出雲市身障者福祉協会 副会長
11	委員	ばんだい てるまさ 萬 代 輝 正	出雲市議会スポーツ推進協議会 前会長
12	委員	またま やすひろ 真 玉 保 浩	島根県高等学校体育連盟 副会長 ※島根県高等学校体育連盟 出雲地区代表 ※出雲高等学校 校長
13	委員	みずうち けんじ 水 内 賢 司	出雲養護学校 教諭
14	委員	やた えいこ 矢 田 栄 子	特定非営利活動法人出雲スポーツ振興21 事務局長
15	委員	やまね ちえみ 山 根 千 恵 美	出雲市スポーツ推進委員
16	臨時委員	たまい たかゆき 玉 井 孝 幸	米子工業高等専門学校建築学科教授
17	臨時委員	ふくま まさずみ 福 間 正 純	出雲商工会議所副会頭
18	臨時委員	やました かずや 山 下 一 也	島根県立大学（出雲キャンパス）学長代行
19	臨時委員	わだ よしひろ 和 田 嘉 宥	出雲市景観審議会会長

新体育館建設基本計画（案）に対するパブリックコメントの実施結果について

1 募集期間

令和元年7月3日（水）から令和元年8月1日（木）まで

2 提出者数及び意見数

(1)意見提出者（団体） 47人（うち2団体含む）

(2)意見数 131件

3 意見者の状況（47人）

(1) 年代

20代	3人
30代	35人
40代	2人
50代	1人
60代	4人
70代	2人

(2) 地区別意見数（件）

今市	13	長浜	3
大津	6	湖陵	5
塩冶	7	大社町	9
高松	30	荒木	2
四絡	12	出西	7
川跡	6	伊波野	19
鳶巣	1	荘原	3
神門	2	市内	2
神西	2	市外	2

4 項目ごとの意見数

項目	小項目	意見数
1. はじめに		5
2. 出雲市の体育館の現状と課題		6
3. 新体育館整備の必要性		7
4. 建設予定地	4.1 敷地概要	26
5. 基本コンセプト		10
6. 施設の構成と想定規模	6.2 施設の構成と想定規模	6
	6.3 屋外機能	1
	6.4 付随する機能	8
7. 施設基本計画	7.1 ゾーンニング・動線計画	3
	7.3 構造計画	4
	7.4 設備計画	3
	7.8 概算事業費	4
8. 運営方針	8.1 管理運営方針	4
	8.2 維持管理・運営費	5
9. 事業手法		3
全般		36
合計		131

※項目が指定されていなかったご意見については、市で該当する項目に振り分けました。
 ※ご意見一覧の網掛け部分は、ご意見を踏まえ新体育館建設基本計画（案）を修正した項目です。

新体育館建設基本計画(案)へのご意見(パブリックコメント)一覧

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代
1	パブ コメ	1. はじめに		1	新体育館建設の理由を聞きたい。	本市では、平成27年に「出雲市公共施設のあり方指針」を策定しました。この指針において、建築から約50年が経過した出雲体育館、平田体育館、斐川第2体育館については、老朽化により安全性、耐震性等に問題があるため、廃止の方針となりました。 一方、「出雲市スポーツ振興基本計画」の見直しの議論の中で、17万都市にふさわしい市民のスポーツ活動拠点として、新体育館建設の必要性について議論があり、新体育館建設について盛り込んだ「出雲市スポーツ推進計画」を平成28年5月に策定し、新体育館について早期の着手を目指すこととなりました。		高松	40
2	パブ コメ	1. はじめに		2	本市は、現在約50のスポーツ施設を有し、スポーツ施設全体で年間80万人を超える利用者があり」と記されているが、「出雲市の体育館の現状と課題」に於いては、それぞれスポーツ施設ごとに競技種目別の利用者数及び課題が記載されているため、現状の実態が市民には全く分からない、新体育館建設の根拠となるスポーツ施設ごとの現状と課題を明確にすることが必要不可欠である。「現状と課題」の欄に、50のスポーツ施設ごとに競技種目別の利用者数の絶対数と延べ人数及び課題について記載すべきである。	体育施設のうち、体育館については、競技毎の利用者人数は把握していませんが、表2-1で掲載している各体育館について、年間利用者数を新たに記載します。	○	伊波 野	60
3	パブ コメ	1. はじめに		3	「人口規模に見合った市民のスポーツ活動の中心拠点がなく」と記されているが、「みるスポーツ」としての大規模な大会やイベント等の開催のためではなく、「市民のスポーツ活動の拠点」としては市民に身近な場所を使いやすさ等の利便性の観点から市の中心部に近い場所の大規模施設よりむしろ分散すべきであるとの考え方がある中で、「市民のスポーツ活動の中心拠点」の必要性について、「現状と課題」の欄に詳しく記載すべきである。なお、市立図書館については合併前の自治体ごとに図書館があり、「読書離れ」が叫ばれて久しいが、各図書館は住民に身近な図書館として多くの市民に利用されており、仮に「出雲中央図書館」に集約された場合には、一層、市民の読書離れが進行することが懸念される。3つの体育館を統合して新体育館を建設することが真に市民の生涯スポーツの振興に資するかどうかスポーツ振興審議会で時間をかけて審議すべきである。	体育館の必要性については、3. 新体育館整備の必要性に記載しております。「17万都市にふさわしい市民のスポーツ活動拠点」として多くの市民に使っていただけるよう、建設予定地は、市の中心部に近く、主要幹線道路からのアクセス道が整備されており、一畑電車の船節点である川跡駅も近くにある鳥根県立大学出雲キャンパス(東側)としました。 『新体育館建設基本計画』の策定にあたっては、「出雲市スポーツ振興審議会」に諮問し、これまで計8回開催し、基本計画案がまとまったところから審議にあたっては、市民説明会、各競技団体説明会、市民の皆さまからの意見募集のほか市議会など、多くの皆様様の様々なご意見を踏まえ議論していたら、市民の皆さまに親しまれる体育館となるよう整備してまいります。		伊波 野	60
4	パブ コメ	1. はじめに		4	「今後開催が想定される国民体育大会(国民スポーツ大会)の競技会場としての役割」と記されているが、都道府県の人口規模に大きな格差がある中で都道府県対抗として実施される国民体育大会については出雲市としても、そのあり方及び市内での開催について市民の意見を十分に聴いたうえで判断すべきである。国体(国民スポーツ大会)が開催されたとしても期間は短く出雲市内で開催される競技種目も限られるはずであり、市にとって国体が市民のスポーツ振興の観点からどれほどの意義があるのか現段階では極めて不透明である。新体育館建設の必要性や機能・規模の決定にあたり、国体の競技会場としての役割を想定することには大きな疑問を感じる。「はじめに」の文章から、「国民体育大会(国民スポーツ大会)の競技会場としての役割」に関する記述は削除すべきである。	「国民体育大会(国民スポーツ大会)が開催される際には、新体育館は、重要な役割を担うことが予想されることからこのように記載しております。		伊波 野	60
5	パブ コメ	1. はじめに		5	「はじめに」には、基本計画の策定過程について記述されていない。市内部の検討委員会で基本計画の原案が作成され、「出雲市スポーツ振興審議会」での審議を経て作成された「基本計画(案)」について市民の意見を計画に反映するためにパブリックコメントが実施され、さらにスポーツ振興審議会での市民の意見を詳細に検討したうえで基本計画が策定されるはずである。基本計画が市の内部でのみ検討して策定されるのではなく、市内部の検討委員会で基本計画原案作成、パブリックコメントの実施及びスポーツ振興審議会での審議を経て基本計画が策定される旨を本文に明記すべきである。	策定の経過については、議会で報告やホームページにおいて、審議会の議事録など広く情報提供しております。		伊波 野	60

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代
6	パブ コメ	2. 出雲市の体育館の現状と課題		1	「配置にばらつきがある」とあるが、ばらつきがあることが問題であるかのよう な記載である。ばらつきがある方が、より利便性もあるため、「配置」に偏りがある 1 にすべきである。また、基本計画内に、その(配置)のばらつきを「解決策」と なりうる旨の記載がどこにあるか不明瞭であるため、現在の出雲市の体育施設 設(プールも含めた)の問題点を、今後どのように解決していくのか、そして、 新体育館はその中でどのような位置づけなのかを明記すべきである。	ご指摘のように「配置」に偏りがあります。 その他の体育施設など公共施設については、公共施設あり方指針や出雲 市公共施設等総合管理計画等により検討する必要が有ると考えております。 なお、新体育館の位置づけは、基本コンセプトに掲げているとおりです。	○	四絡	30
7	パブ コメ	2. 出雲市の体育館の現状と課題	表2-1	2	表2-1の並び順が分かりにくい。地区ごとに記載してあるが、築年数の古い順 3 番に記載すべきである。	市内体育館の課題から地域ごとの配置がわかりやすい順番としています。		四絡	30
8	パブ コメ	2. 出雲市の体育館の現状と課題		3	「各競技の市大会を開催するには、施設の規模に課題があります。一方で、 多様化する市民ニーズに対応するうえで新たな機能も求められたいです」と記 3 されているが、「施設の規模の課題」及び「市民ニーズ」に対応するうえで求 められる新たな機能」について市民に分かりやすく具体的に詳しく記述すべきで ある。	出雲市体育協会加盟の競技団体や、体育館利用者のアンケート結果を踏ま え、検討した内容を「6. 施設の構成と想定規模」に記載しております。		伊波 野	60
9	パブ コメ	2. 出雲市の体育館の現状と課題		4	「県立浜山体育館は、土日祝日には中国大会や県大会等規模の大きい大会 が集中し、ほとんど空きがない状態であり、市の拠点体育館としての役割を担 うことは困難」と記されているが、「市の拠点体育館」の役割とは、どのようなこ とを指すのか不明である。「市の拠点体育館」の役割について、市民に分かり やすく具体的に詳しく記述すべきである。	市の拠点体育館の果たすべき役割は、基本コンセプトに記載しているとおり、 市民が気軽にスポーツ、体力づくりができ、市大会等が開催できることとして います。		伊波 野	60
10	パブ コメ	2. 出雲市の体育館の現状と課題		5	「今後の公共施設のあり方については、少子高齢化に伴う人口減少など、社 会環境の変化に対応するため効果的・効率的な施設運営に取り組んでいく必要 性があり、体育館についても同様」に考えていく必要が有ります」と記されて いる。出雲市でも今後長期的に人口減少が想定される現実がある中で、その 5 現実に対応すべく効果的・効率的な施設運営のあり方について現時点で真摯 に検討すべきであり、その結果としての新体育館の効果的・効率的な施設運 営のあり方について市民に分かりやすく本計画に明記すべきである。	ご指摘の点につきましては、8. 運営方針において記載しております。		伊波 野	60
11	パブ コメ	2. 出雲市の体育館の現状と課題		6	「競技スポーツのほか、健康づくりや生きがいづくりを目的とした生涯スポーツ など、多様化する市民ニーズへの対応や…」について検討していく必要があり ます」と記されているが、新体育館建設の根拠となる2016年度に策定された 「出雲市スポーツ推進計画」では「市民一人ひとりがライフステージに応じてス ポーツを楽しみ、触れることができる生涯スポーツ社会の実現をめざす」とと なされている。したがって、競技スポーツの振興に優先して、先ず何よりも「市民 一人ひとりがライフステージに応じてスポーツを楽しみ、触れることができる生 涯スポーツ社会の実現をめざす」ことが重要である。本文の記述は市民の生 涯スポーツより競技スポーツを優先する考え方に基づくものであり、「スポーツ 推進計画」の精神・考え方に對する基本的認識に大きな誤解があり根本から 考え方を改めるとともに「競技スポーツのほか、健康づくりや生きがいづくりを 目的とした生涯スポーツなど、多様化する市民ニーズへの対応や…」につい て検討していく必要が有ります」の箇所の記述については修正すべきである。	ご指摘の点につきましては、「出雲市スポーツ推進計画」において、計画の基 本目標のひとつである、「(1)スポーツがあらゆるまちづくりにおいて、生涯 スポーツ社会の実現をめざすこととしており、競技スポーツについても、生涯 スポーツの中にも含まれていると整理しています。		伊波 野	60
12	パブ コメ	3. 新体育館整備の 必要性		1	新体育館はいりません。約60億ものお金を体育館にかけるのなら、子どもの 医療費を中学生まで無料にしてください。体育館より先に取り組むべき優先事 項があると思います。市民が納得する税金の使い方をして下さい。	出雲体育館、平田体育館及び斐川第2体育館の老朽化が進み、廃止が予定 されており、また、合併により新出雲市が誕生して15年になる中で、本市の更 なるスポーツ振興を図ることや、多様化する市民ニーズに対応するためには、 「17万都市にふさわしい市民の活動拠点」としての規模と機能を持った新体 育館の整備が必要であると考えております。		神門	20

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代
13	パブ コメ	3. 新体育館整備の 必要性		2	新体育館を新設すれば、約50年間は使用することになります。しかし、50年先はもとより、40年先、30年先、20年先の本市はどうかとなっているのでしょうか。少なくとも予測されるのは、少子化と高齢化が進展しています。その時に体育館はどのようなものが必要であり、求められるのかを検討されたいといけません。体育館のあり方が大きく変化することは間違いありません。今後、スポーツ、体育館のあり方が大きく変化することは間違いありません。長期的視点を持って再検討する必要があると考えます。そうでないと無責任です。	同上		大津	60
14	パブ コメ	3. 新体育館整備の 必要性		3	既存の3体育館を廃止して、それらに相当する規模の体育館を新設する計画ですが、少子・高齢社会に対応するためには、むしろ住民に近いところに、適度な規模の施設が求められると考えます。	同上		大津	60
15	パブ コメ	3. 新体育館整備の 必要性		4	市民が使用する体育館について (以前新体育館のハネルディスプレイカレッジにおいて)副市長からも新体育館の方向性として、市民が頼るより、使用することに重きを置く方向性を示されたが、使用だけを考えれば、現計画規模並びに予定地に必要ないと考える。使いややすさを考えるなら現在の3体育館を同様の規模にて建て替える方が利便性も損なうことなく使用できると考える。	同上		高松	30
16	パブ コメ	3. 新体育館整備の 必要性		5	利用について 市内3体育館の統合の必要性が、出雲市の30年後の都市計画とマッチしているのか疑問です。	同上		大社	30
17	パブ コメ	3. 新体育館整備の 必要性		6	出雲市の経済活動の活性化がコンセプトに含まれていないなら、既存と同じような規模・施設面積の縮小の必要があるのではあればわずかに縮小)の施設で十分だと思います。	同上		大社	30
18	パブ コメ	3. 新体育館整備の 必要性		7	「市内体育館には上述のような課題があることから、本市のさらなるスポーツ振興を図ることや多様化する市民ニーズに対応するために17万都市にふさわしい市民のスポーツ活動拠点としての規模と機能を持った新体育館整備が必要」と記されているが、「課題」は体育館整備の必要条件であり、新体育館を整備するためには整備の積極的な意欲に対する市民の理解が不可欠であり、「本市のさらなるスポーツ振興を図ることや多様化する市民ニーズに対応する」との抽象的な表現では、新体育館整備の意義が市民には伝わってこない。新体育館整備の必要性と意義について市民に分かりやすく具体的に詳しく本文に記述すべきである。	新体育館の建設については、新たな出雲の國づくり計画『出雲未来図』及び出雲市スポーツ推進計画にも位置付けて進めていくこととしております。また、各種関連計画に留意しながら整備を行うこととしております。 新体育館は「17万都市にふさわしい市民のスポーツ活動拠点」として7つのコンセプトのもと市民が気軽に気軽にスポーツ、体カづくりができ、市大会等が開催できる市の拠点体育館として整備します。	伊波 野	60	
19	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1.敷地概要	1	建設用地の決め方に疑義あり。 建設予定地を決定するまでの経緯を説明すべし。	建設予定地については、地域から要望のあった4か所(一般企業事業地【大津町】、出雲養護学校高松農場【浜町】、県立大学出雲キャンパス周辺、一般県道出雲インター線沿線付近【神西地区】)に、市が候補地として選定した出雲健康公園周辺を加えた5か所について、敷地状況、交通アクセス、人口重心からの距離、整備コスト【概算】など、様々な視点から評価した結果、一番評価の高かった「島根県立大学出雲キャンパス東側」に決定しました。策定の経緯については、議会で報告やホームページにおいて、審議会の議事録など広く情報提供しております。 なお、候補地選定時の整備コストについては、平成30年3月の市議会全員協議会において報告しております。		高松	60
20	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1.敷地概要	2	なぜ現在の場所(案)となったのかわからない、他の5〜6か所の候補地と比較するとコストが高いのでははないか、建設費、総事業費の比較表を明確にして市民に公表してほしい。	同上		高松	60

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代
21	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	3	なぜあえて出雲市が条例で決定した景観形成地域を選んだのか不明。15メートルの高さ問題など、出雲市が決めた条例をあえて自ら破ることは道義的にも大きな問題と思う。	【鳥根県立大学出雲キャンパス周辺景観形成地域】の景観形成基準は、鳥根県立大学の立地を契機に、平成5年、葦原・川跡地区に「景観形成検討委員会」が立ち上げられ、地域の指定、基本目標、景観形成基準などが審議され、その結果をもとに市と地元が合意し定められたものです。 また、今回この土地が、建設予定の候補となったのは、他の4候補地と同様に地元から新体育館の建設の要望があったためです。		高松	60
22	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	4	防災対策 防災マップによると、大雨洪水の場合、危険な場所をあえてなぜ選んだのかよくわからない。これについてわかりやすく明確に答え、公表してほしい。	新体育館については、第一義的には、全ての市民のスポーツ活動拠点としての役割が最も重要であり、付加機能として避難所などの多目的に活用することとしております。災害の種類は、土砂災害、地震、大規模火災等様々であり、また、被災範囲や規模も実際の災害ごとに異なります。 そのため、災害発生のおそれのある場合は、災害の種類や進展の可能性について検討し、施設や避難経路の安全性の確認ができた指定避難所を開設することとしています。		高松	60
23	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	5	新体育館の整備の必要性については、よく理解できました。この建設予定地ですが、この場所(県立大学出雲キャンパス(東側))は、出雲市の中でも低い土地、しかも斐伊川の氾濫などを想定すると危険地域となっているところではないでしょうか。盛土をされる様なお話ですが、避難場所としてはいかにかなものか？建設費についても、余計な費用が係る事など、他にもっと安全な高台の候補地を見当される事を望みます。	出雲市内は、平野部のかかりの部分が浸水を受けやすいためとされていますが、実際に浸水が発生する地域は、降雨量や降雨場所によって異なります。浸水害の可能性を極め、被害が発生する前に開設することになります。したがって、新体育館の指定避難所としての役割については、浸水する可能性のある地域に位置する他の指定避難所と同様であると考えています。 また、新体育館には、避難者の食料や資機材及び備品等を保管する備蓄倉庫を確保することとしており、災害の際に役立つと考えております。 なお、新体育館が、浸水しない高さを確保することにより、安全性を高めることができると考えております。	同上	高松	70
24	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	6	建設予定地の災害想定と避難計画について 避難所機能を持たせませんが、災害発生時の想定浸水高が0.5～3.0mとなっているが災害発生時には周辺全体が水没するのではないのでしょうか。避難人口規模を考えた避難所機能を持たせるのではなく、一時避難場所とする計画が良いと考えます。避難所機能は大学で十分可能です。一時避難場所とするのであれば敷地全体を高くするのではなく新体育館の周辺に丘陵を計画し、体育館の設計レベルを高くする方が合理的です。	【川跡駅も近くにありますが、災害発生時の想定浸水高が0.5～3.0mしか電車が来ない駅は一般的に利便性が高いとは言えないので、「川跡駅も近くに」にあることから公共交通機関も利用することができ、「川」に渡るべきである。	同上	塩冶	30
25	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	7	川跡駅も近くに「川」があるから利便性が高く・・・とあるが、1時間に1、2本しか電車が来ない駅は一般的に利便性が高いとは言えないので、「川跡駅も近くに」にあることから公共交通機関も利用することができ、「川」に渡るべきである。	駅に近いことは、位置的に利便性が高いと考えております。		四路	30
26	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	8	【期待できる鳥根県立大学出雲キャンパスとの連携】のソフト面に関して、成人式や選挙開票所の利用についても検討されているとのことから、選挙における投票啓発運動や、成人式の運営補助を追加すること。	期待できる連携のすべてを記載するものではなく一例を記載しています。内容については、実際に提案があり、審議会で審議していただいた内容を記載しております。		四路	30

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代
27	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	9	表4-1建設予定地概要において、「災害発生時の想定」とあるが、鹿島原原の事故に対しても記載すべきである。また、交通アクセスに関して、「出雲市役所から車9分」と記載があるが、「17万都市の活動拠点」という観点から平田支所、斐川支所、大社支所等各支所からの時間も記載すべきである。	新体育館については、第一義的には、すべての市民のスポーツ活動の拠点としての役割が最も重要であると考えられています。避難所機能については、全ての災害に対応することは困難であり、可能な範囲で付加していると考えです。原子力災害が発生した場合、UPZ(原発30km圏内)における防護措置については、事象の進み具合により、まずは屋内退避を実施し、その後、UPZ外への避難(一時移転)行動となります。新体育館には、基本的に、原子力災害以外の避難(一時移転)行動を持たせることになると考えております。	○	四路	30
28	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	10	主要道路が近い、川跡駅から近いは主要道路からのアクセスはあまり良くないと感じる。特に高速道路。また、一畑がなにかしらの理由で廢線となる可能性は0ではないのそこを頼るのはどうか？	国道431号バイパスや市の主要幹線道路もあり、また、駅に近いことから利便性は高いと考えられています。		出西	30
29	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	11	基本計画には、県立大学との連携を多くうたっているが、実現性の低いものもあるように感じる。まずはこの理想を現出雲市体育館などで行って検証をされるべき。現体育館また、カミアリーナなどでの検証を踏まえて理想を語ってはどうか(まち歩きや健康教室など)できなければ県立大学の隣に建設してもできないと判断されるのではないか。	期待できる連携のすべてを記載するものではなく一例を記載しています。内容については、実際に県立大学からの提案があり、審議会でも審議していただいた内容を記載しております。		出西	30
30	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	12	新体育館の建設予定地は、農業振興地域内に位置する。農業振興地域は、農林水産省によると「自然的経済的社会的諸条件を考慮して総合的に農業の振興を図ることが必要である」と認められる地域について、その地域の整備に必要施策を計画的に推進するための措置を講ずることにより、農業の健全な発展を図るとともに、国土資源の合理的な利用に寄与することを目的とするものである。新体育館建設のために31,700㎡もの農地を宅地化に転用することは、当該地域が総合的に農業の振興を図ることが必要であると認められる地域に該当しなくなるとの判断であるのか。それとも政策的な必要性から特別に農地を宅地に転用するのかが。前者であれば、新体育館の建設を理由に周辺地域における将来の民間による農地転用を進めていくことになる。後者であればより一層農地の保護のため、将来の渡り農地転用を認めない方針とされるのか。後者であると考えると、出雲市としての方針を示したい。出雲未来図4.5ページに「農業者と市民がともに農業の重要性や多面的機能を理解し、協力しながら農業と農村環境を守ること、食糧需給率の向上、安全・安心な食物の確保、快適な居住環境を守っていきます。また、農業委員会の所管の問題であり回答できないとされるかもしれないが、都市計画法による開発行為に関連する問題であり、基準を明確にすべきと考え意見する。	新体育館のような大規模な公共施設を平野部に新たに建設しようとする場合、大規模な再開発を行う以外には、一般的に農地の活用を検討せざるを得ないと考えています。		今市	40
31	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	13	建設予定地である川跡駅周辺ですが、出雲市の洪水ハザードマップを見ると浸水地になっています。防災拠点としての考え方に反していると思えます。浸水した場合、市民が防災拠点までたどりつけないのか不安です。	新体育館については、第一義的には、全ての市民のスポーツ活動拠点としての役割が最も重要であり、付加機能として避難所などの多目的に活用することとしております。災害の種類は、土砂災害、地震、大規模火災等様々であり、また、被災範囲や規模も実際の災害ごとに異なりします。そのため、災害発生のおそれのある場合は、災害の種類や進展の可能性について検討し、施設や避難経路の安全性の確認ができた指定避難所を開設することとしています。		今市	30

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代
32	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	14	立地について 全国規模の大会やイベントを開催するにあたって、交通アクセスが良いとは思えない。一畑電鉄の本数を考えても、今の場所が最適なのか疑問に思う。	国道431号バイパスや市の主要幹線道路もあり、また、駅に近いことから利便性は高いと考えられています。		今市	30
33	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	15	行政が掲げる方向性を一致させる 建設予定地は、農業振興地域であり、市長の考え自体も出雲市の基幹産業は農業であると申しておられる中で、この地域に建設を進める理由が明確でない。また行政は、今後施設等の2割削減を目指して改革を行うと言いつながら今回の計画は、2割削減でなく、3体育館とほぼ同様な規模になっている点も含め、矛盾していないのか。	建設予定地については、地域から要望のあった4か所（一般企業事業用地〔大津町〕、出雲養護学校高松農場〔浜町〕、県立大学出雲キャンパス周辺、一般県道出雲インター線沿線付近〔神西地区〕）に、市が候補地として選定した出雲健康公園周辺を加えた5か所について、敷地状況・交通アクセス・人口重心からの距離・整備コスト【概算】など、様々な視点から評価した結果、一番評価の高かった“鳥根県立大学出雲キャンパス東側”に決定しました。 新体育館のような大規模な公共施設を平野部に新たに建設しようとする場合、大規模な再開発を行う以外は、一般的に農地の活用を検討せざるを得ないと考えています。 農業振興地域内で農地を転用する場合、一般的に「農業振興地域の整備に関する法律（農振法）」に基づく農振除外申出と「農地法」に基づく農地転用許可申請の手続きが必要となります。 「農振法」、「農地法」とも農地以外に転用するための要件が定められており、農業振興地域整備計画の変更（農振除外）及び農地転用することが可能となります。新体育館用地については、この要件に合致しているものと考えており、必要な手続きを進めていくこととしております。 また、公共施設等総合管理計画の目標数値である延床面積の2割削減については、個別の施設について定めた目標ではなく、市の全施設（学校施設等一部施設を除く）の延床面積の2割削減しようとするものです。 なお、体育館の面積は、実施しようとするスポーツによって規定するものであり、一律に面積を削減すると使用しにくい体育館になると考えています。		高松	30
34	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	16	一畑電鉄の結節点である川跡駅近くにあることから利便性が高いということ值得期待されているが、実際の川跡駅の電車の本数とえば、基本的に1時間に1本という現状で、その点については、不便さを感じる。利便性が高いと期待するならば本数を増やすことも考えてほしい。	ご意見は参考とさせていただきます。		今市	30
35	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	17	県立大学との連携について、市民の健康増進に向けて取組を行ってほしい。	県立大学との議論を深めていきたいと考えております。		大社	30
36	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	18	ハザードマップの災害等が起こるかもわからないところに建てても大丈夫ですか？	新体育館については、第一義的には、全ての市民のスポーツ活動拠点としての役割が最も重要であり、付加機能として避難所などの多目的に活用することとしております。災害の種類は、土砂災害、地震、大規模火災等様々であり、また、被災範囲や規模も実際の災害ごとに異なります。 そのため、災害発生のおそれのある場合は、災害の種類や進展の可能性について検討し、施設や避難経路の安全性の確認ができた指定避難所を開設することとしています。 出雲市内は、平野部のかんりの部分が浸水を受けやすさがあると考えられていますが、実際に浸水が発生する地域は、降雨量や降雨場所によって異なるため、浸水害の可能性を員種別、被害が発生する前に開設することになります。したがって、新体育館の避難所としての役割については、浸水する可能性のある地域に位置する他の指定避難所と同様であるとと考えています。 また、新体育館には、避難者の食料や資機材及び備品等を保管する備蓄倉庫を確保することとしており、災害の際に役立つと考えております。 なお、新体育館が、浸水しない高さを確保することにより、安全性を更に高めることができると考えております。		高松	30
37	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	19	災害時の対策が気になっております。立地も避難場所に通っていないように思えます。その点について、工夫があれば教えてほしい。	同上		今市	30

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代	
38	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	20	立地について 避難所としてハザードマップの浸水エリアに計画されている。避難する動線をどのように考えているのか。施設だけを高くするよりも、西出雲駅周辺など高台に建設したほうが良いと思います。	同上		大社	30	
39	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	21	建設場所選定における評価について 「市の中心部に近く…利便性が高い」と記されているが、建設候補地の8地点の評価と比較して圧倒的に高い評価とされている。人口重心からの距離を建設地点評価の最終項目とする考え方は、人口重心に近い公共施設は距離的に利便性が高く公共施設の場所選定においては一旦合理的と思える半面、このことになり、大高の原地からは多くの市民にとって不公平・不合理な場所選定になりかねない。また、景観形成地域、農業振興地域、浸水エリア、原案避難エリアなど法令等による規制、制約に係る配点は1点とするなど新体育館の建設場所選定における評価法には合理的とは到底思えない大きな問題があり、新体育館の場所選定については白紙に戻して再検討すべきである。			伊波 野	60	
40	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	22	景観形成地域について 建設予定地は、「出雲市景観計画」において「県立大学周辺景観形成地域」に指定されている。当該地域の景観形成基準では、建築物の高さは15m以下に制限されている。 新体育館は勾配屋根の場合には高さが約20mとされ、基準の15mを大きく超えており本来は建築できない建物であるが、「出雲市景観審議会」では3人の委員の建物の高さにはこだわらず周辺の景観とマッチした建物が良いとの趣旨の発言を受けて、景観審議会として承認することとされた。体育館の高さが景観形成基準を大きく超えるものでも市の景観行政が認められることは正に景観形成基準を骨抜きにするもので市の景観行政が問われる重大な事案であり今後の景観形成基準を無視するルール違反を犯して新体育館を定めた市が率先して景観形成基準を無視することであり、建物の高さを15m以下で設計することなど絶対的にあり得ないこととあり、建物の高さを15m以下で設計できないのであれば、新体育館の建設場所は白紙に戻して再検討すべきである。			伊波 野	60	
41	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	23	避難所機能について ① 浸水エリアについて 建設予定地は災害発生時には想定浸水深が0.5～3.0mとされている。新体育館周辺も浸水することから新体育館に避難することは困難であり、周辺が浸水の前に避難したとしても、床上浸水の可能性があり避難所としては不適合である。病弱な人や障がい者・高齢者・子どもなどの災害弱者にとっては、このような避難所は過酷な環境であり到底避難所として十分機能する施設としては使用しない。スポーツ振興審議会での市の説明では、新体育館は避難所としても使用するが、第一義的には避難所機能より体育館としての機能を優先して整備するものであり、災害時に十分に機能する避難所としては別途考えるべきものとの趣旨の説明があった。 市の財政は借金が1,000億円を超えている。状況であり、学校体育館は教育に支障があることから長期的に避難所にはなり得ず、避難所としては取捨能力から市の体育館は最も重要かつ有効な避難所である。財政状況から考えても避難所として十分に機能する施設を新体育館とは別途に整備することではない現実的であり、新体育館は災害時の避難所として十分に機能しない新体育館の建設場所については白紙に戻して再検討すべきである。なお、人口約8万人の秋田県田川市では約90億円を投じて1年前に体育館が建設・オープンしているが、スポーツ拠点としてだけでなく最初から災害時の避難所として使用する計画であり、避難所として十分に機能するよう設計して施設が整備され、万一の津波対策としても津波の心配のない海拔10数mの位置に建設されている。		「島根県立大学出雲キャンパス周辺景観形成地域」の景観形成基準は、高根県立大学の立地を契機に、平成5年、高根・川跡地区に立ち上げられた「景観形成検討委員会」において、地域を指定、基本目標、景観形成基準などが審議され、その結果をもとに市と地元が合意し定められたものです。 また、今回この土地が、建設予定の候補となったのは、他の候補地と同様に地元から新体育館の建設の要望があったためです。 今後も、地元の方や景観審議会の意見を伺いながら、高さを極力低く抑えつつ、屋根の形態、色彩、緑化等、可能な限り「島根県立大学出雲キャンパス景観形成地域」の基本目標、景観形成基準等に沿った形で、新体育館建設を進めていきたいと思います。		伊波 野	60
41	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	23	避難所機能について 市は、第一義的には、全ての市民のスポーツ活動拠点としての役割が最も重要であり、付加機能として避難所などの多目的に活用することとしております。災害の種類は、土砂災害、地震、大規模火災等様々であり、また、被災範囲や規模も実際の災害ごとに異なります。 そのため、災害発生のおそれのある場合は、災害の種類や進展の可能性について検討し、施設や避難経路の安全性の確認ができた指定避難所を開設することとしています。 出雲市内は、平野部のかかなりの部分が浸水を受けると考えられておられます。浸水が発生する地域は、降雨量や降雨場所によって異なるため、実際の浸水の可能性を見極め、被害が発生する前に開設することになります。したがって、新体育館の避難所としての役割については、浸水する可能性のある地域に位置する他の指定避難所と同様であると考えるべきです。また、新体育館には、避難者の食料や資機材及び備品等を保管する備蓄倉庫を確保することとしており、災害の際に役立つと考えられております。なお、建設予定地は、平成30年3月の島根県地震・津波被害想定調査報告書による津波被害想定される地域ではありません。万一の場場合に指定避難所として活用可能と考えられています。				伊波 野	60

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代
42	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	24	原発避難エリアについて 鳥根原子力発電所で過酷な事故が発生した場合には、住民は放射性物質の飛散による健康被害から身を守るため避難を余儀なくされることから、原子力発電所から30Km圏内にある自治体は「原子力災害に備えた広域避難計画」の策定が法律で義務付けられ、出雲市でも策定されている。新体育館の建設予定地は鳥根原発から30Km圏内にあり、鳥根原発で過酷な事故が発生し放射性物質が飛散する事態になれば避難所としての役割を果たすことは不可能である。原発事故の規模や風向き・風力により放射性物質の飛散範囲・程度は様々なが、少なくとも市内の避難所としては原発から30Km以上の地域に避難所を設けるべきである。新体育館は収容能力からも市内では最有力の原発災害に備えた避難所となるはずであり、新体育館は鳥根原発から30Km圏内の地域に建設すべきである。	新体育館については、第一義的には、すべての市民のスポーツ活動の拠点として役割が最も重要であると考えております。避難所機能については、全ての災害に対応することは困難だと考えており、可能な範囲で付加していく考えです。 原子力災害が発生した場合、UPZ(原発30Km圏内)における防護措置は、事象の進み具合により、まずは屋内避難を実施し、その後、UPZ外への避難(一時移転)行動となります。新体育館には、基本的に、原子力災害以外の「避難所機能」を持たせることになると考えております。		伊波野	60
43	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	25	農業振興地域について 1.本建設予定地周辺は農地が広がっており、敷地の確保が図りやすく、また、将来的に必要が生じた場合の追加拡張も可能」と記されているが、近年の大型店舗舗出店、住宅団地開発等のスプロール化により旧出雲市内のまとまった優良農用地が減少の一途を辿っている。しかも、当該地域は農業振興地域であり農業は出雲市の基幹産業でもある。 また、地球温暖化による気象変動、人口減少、国際貿易の不透明化など将来的に食糧の安定確保に大きな課題が想定される中で、安全・安心な食糧の供給率向上が求められることから安易な農業振興地域の除外や優良農用地の転用は厳に慎むべきである。農業振興地域に対する市の考え方には大きな疑問があり、新体育館は農業振興地域以外の土地から選定すべきであり、新体育館の建設場所については白紙に直し再検討すべきである。	新体育館のような大規模な公共施設を平野部に新たに建設しようとする場合、大規模な再開発を行う以外には、一般的に農地の活用を検討せざるを得ないと考えています。 建設予定地については、地域から要望のあった4か所(一般企業事業地【大津町】、出雲養護学校高松農場【浜町】、県立大学出雲キャンパス周辺、一般県道出雲インター線沿線付近【神西地区】)に、市が候補地として選定した出雲健康公園周辺を加えた5か所について、敷地状況・交通アクセス・人口重心からの距離・整備コスト(概算)など、様々な視点から評価した結果、一番評価の高かった「鳥根県立大学出雲キャンパス真側」に決定しました。 農業振興地域内で農地を転用する場合、一般的に「農業振興地域の整備に関する法律(農振法)」に基づき「農振除外申出」と「農地法」に基づく農地転用許可申請の手続きが必要となります。 「農振法」、「農地法」とも農地以外に転用するための要件が定められており、この要件をすべて満たした場についてはやむを得ないと判断され、出雲農業振興地域整備計画の変更(農振除外)及び農地転用をすることが可能となります。新体育館用地については、この要件に合致しているものと考えており、必要な手続きを進めていくこととしております。		伊波野	60
44	パブ コメ	4. 建設予定地	4.1. 敷地概要	26	県立大学出雲キャンパスとの連携について 県立大学との連携としてハード面では駐車場の相互利用及び大学の体育館・運動場の利用が掲げられているが、教育・研究機関としての大学の社会貢献の基本は①優れた人材を社会に送り出すこと、②優れた研究成果を出すことである。 新体育館での大規模な大会やイベントのために大学の施設や駐車場を貸し出す場合は、相対以前から予定に入れることとなり大学の自由な活動が制約を受けることになる。体育館との連携のために大学の教育・研究が制約を受けることはあってはならない。 新体育館が相互に依存するような関係は、教育と研究を本分とする大学にとってはいかなる場合でも十分な連携は可能であること、②大学が計画する体育館を活用したイベントの開催が掲げられているが、①大学と新体育館の距離がある程度離れていても十分に連携は可能であること、②大学が計画するイベント等については必ずしも新体育館ではなく他の施設の活用が可能であること、③大学のイベント等の使用により新体育館の本来の目的である市民のスポーツ活動に支障をきたす可能性が高いことが想定される。県立大学は松江キャンパスから栄養関係学科を移管し、医療・健康に関する総合的な学問の教育・研究機関として日本の大学を目指し、全国から多くの高校生や研究者が訪れる大学になるべきであり、それが出雲市にとっても大学に期待する最大の地域貢献である。そのためにも大学の施設や駐車場は常に大学で自由に使用できる状態にしておくべきである。市は新体育館が市民のためのスポーツ施設であることを十分に認識するとともに大学の施設や駐車場に依存することなく、必要ならば他の体育施設やシャトルバスの活用など新体育館の補完機能については多角的な視点から再検討すべきである。 したがって、県立大学出雲キャンパスとの連携については抜本的に再検討すべきである。	県立大学との連携については、県立大学との具体的な連携については、今後検討を進めていきたいと考えております。 ソフト面の記載について、大学のためのイベントと解釈される可能性があることから、「市民のためのイベントの開催等」に修正します。		伊波野	60

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代
45	パブ コメ	5. 基本コンセプト			<p>(2) スポーツをみる体育館について、県立浜山体育館との役割分担ができなかったため重要ではないと考えます。</p> <p>(4) 市民が集う体育館について、まず出雲市の問題点として休日子どもを遊ばせる場所がないと思っております。晴天時は公園で遊ばせることができず、雨天時はありません。子連れの家族が大型ジョypingセンターに集まっていますが、子どもをのびのびと遊ばせられる環境ではありません。無料で使える遊び場があると良いです。多くの市民が利用でき、交流人口を増やすことができると思います。情報発信があればスポーツの振興にもつながります。</p> <p>(6) 景観に配慮した体育館について、積極的な緑化を行うべきであると考えます。整備イメージをみくと周辺のみ植栽が計画されていますが、アプローチや遊歩道を整備し植栽を計画しなければ良好な景観にはならないと考えます。</p> <p>(7) 多用途使用に配慮した体育館について、コンベンション施設は必要であると思えます。しかし中途半端なものにするのではなく、音響設備や搬入動線がきちんと考えられたものである必要があります。災害時の避難所については、前述の通り不要であると考えます。</p>	<p>②については、スポーツの人を引き付ける力、影響する力は大きく、スポーツを観るにより、スポーツの楽しさを発見し、自らがスポーツをする機会を創出します。また、スポーツをする人だけでなく、観る人にも配慮した体育館にすることは重要であると考えしております。</p> <p>なお、県立浜山体育館との役割分担をすることで、より大規模な大会等の誘致が期待できると考えております。</p> <p>(4) 意見は参考とさせていただきます。</p> <p>(6) 意見は参考とさせていただきます。</p> <p>(7) については、新体育館は、市民のスポーツ活動拠点としての機能をメインとして考えておりますが、スポーツ以外の機能として、会議、展示会、災害時の避難所など、可能な範囲で活用できるように整備していく考えです。</p>		塩治	30
46	パブ コメ	5. 基本コンセプト			<p>基本コンセプト②の「スポーツをみる体育館」について、①の「スポーツをみる」体育館の内容から、想定される使用者は、市の中学校の総体での中学生、その他のスポーツの老若男女の出雲市民が考えられるが、それらを見るのは、保護者や、同競技団体の関係者、家族など極めて限定的な市民だと考えられる。このコンセプトの文中で「観る」という字が充てられていることから元々スポーツを「観る」ことが想定されていたと思われる。しかし、①で市民の使用としている時点で②は成立しないものと考え、このコンセプトの②は削除すべきである。香席を減らすことで、より多くの競技を行えるよう検討すべきである。</p>	<p>②「スポーツをみる」体育館については、説明にも記載しているとおり重要なコンセプトであると考えています。</p>		四路	30
47	パブ コメ	5. 基本コンセプト			<p>「スポーツをみる体育館」は、あたりまえの考えだが、するための一番の案件は利便性が良いと近いことだと思う。気軽に使うは、駐車場からの動線が短いや体育館の規模だと思う。</p>	<p>ご意見は参考とさせていただきます。</p>		出西	30
48	パブ コメ	5. 基本コンセプト			<p>「見るスポーツ」を重要視されるのであれば、由利本荘市のようにプロスポーツを呼び込むために設備を充実させ、大きな大会でも対応できるようにしておく必要があると思います。</p>	<p>新体育館は、市大会が開催できるほか、市民の日常的なスポーツ活動や健康づくりの拠点という位置づけとしたところです。一方で、県立浜山体育館は、県大会、中国大会、全国大会といった大規模な大会やスサノオマジックの公式戦などのプロスポーツ向け使用が想定されており、新体育館との役割分担を図りつつ、県立浜山体育館と新体育館の連携を図ることで、これまで以上の大規模大会の誘致も可能になると考えています。</p>		今市	30
49	パブ コメ	5. 基本コンセプト	全般		<p>周りの風景にマッチした体育館にしてほしい。</p>	<p>基本コンセプトにおいて、「景観に配慮した」体育館を掲げており、出雲らしさに配慮しながら調和を図ったデザイン、駐車場の緑化等外構にも配慮した体育館としていきたいと考えております。</p>		荘原	30
50	パブ コメ	5. 基本コンセプト			<p>出雲市における新体育館の思いであったり、7つの基本コンセプトは素晴らしいなと思ひ、わくわくするような気持ちになるというのが感想であります。出雲市と言えは体育館があるというようなランドマークになれば、出雲市をより知っていただく場所になってほしいと考えます。地域活性化の取組推進の点でも「出雲未来図」に基づいていると考えますが、人口問題少年高齢化が進んでいることは事実、高齢者の方も訪れる機会を増やすため、コミュニティ的場所、それには、交通アクセス等も考え高齢者の方にとつて不安の多い中で「楽しい」「面白い」と感じてもらいたいとも思ひ、温水プールや祭りなどのイベントもできるようなしてほしいです。</p>	<p>市民に親しまれる体育館となるよう引き続き検討を深めていきたいと考えております。</p>		荘原	30

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代
51	パブ コメ	5. 基本コンセプト		7	「スポーツをすすめる体育館」について 「新体育館はプロスポーツや大規模な大会を行う県立浜山体育館との役割分担を……子どもから高齢者まで、様々な世代の市民が主体となってスポーツをすすめることができる体育館として記されているが、県立浜山体育館との役割分担の具体的な中身が記載されていないため役割分担の態様が全く不明である。県立浜山体育館との役割分担についてはスポーツ振興審議会でも十分に議論されていないので、審議会での徹底的な審議・議論を経て県立浜山体育館との役割分担の具体的な内容を本計画に明記すべきである。	県立浜山体育館との具体的な役割分担については、今後検討を進めていきたいと考えております。		伊波 野	60
52	パブ コメ	5. 基本コンセプト		8	「スポーツをみる体育館」について 「東京オリンピック・パラリンピックの開催もあり、……スポーツの人を引き付ける力、影響する力は大きく、スポーツを観ることによりスポーツの楽しさを発見し……スポーツをすすめる人だけでなく、観る人にも配慮した体育館とする」と記されており、新体育館はプロスポーツや一流選手が競う大会の積極的な誘致が想定されていると思われる。プロスポーツや一流選手が競う大規模な大会等は出雲市内だけで開催するのではなく広域的に開催し、県立体育施設の使用を基本とすべきである。また、自治体の体育施設はあくまでも県立体育施設の補完的な役割を果たすべきである。 松江市、雲南市、大田市など周辺自治体の体育施設との機能・役割分担について、しっかりと議論をたうたうえで新体育館の機能・規模を決定すべきである が、周辺自治体の体育施設との機能・役割分担についてスポーツ振興審議会ではほとんど議論されていない。「みるスポーツ」の体育館としての機能・規模のあり方については、県立体育施設を基本とし、その補完として周辺自治体の体育施設との役割分担について審議会においてしっかりと審議・議論したうえで本計画に明記すべきである。	ご意見は参考とさせていただきます。		伊波 野	60
53	パブ コメ	5. 基本コンセプト		9	「市民が集う体育館」について 「スポーツ関係者のみならず、多くの市民が利用できる体育館」と記されているが、「スポーツ関係者」の定義が不明である。「競技団体・学校等の関係者」であるならば、競技者中心の体育館が指向されているように思われるが、新体育館は競技者中心ではなく市民の生涯スポーツの観点から多くの市民の利用を主とする体育館とすべきである。	ご意見は参考とさせていただきます。 新体育館は、「17万都市にふさわしい市民のスポーツ活動拠点」として、7つのコンセプトのもと市民が気軽にスポーツ、体カづくりができ、市大会等が開催できる市の拠点体育館として整備していきたいと考えております。		伊波 野	60
54	パブ コメ	5. 基本コンセプト		10	「多用途使用に配慮した」体育館について 「新体育館では大空間を有する特徴を活かし、スポーツ以外にも学会や各種団体の会議……など、可能な限り多用途に使用しやすい体育館とする」と記されているが、体育館の大空間を学会や各種団体の会議場として使用することは、座席、バーテーション、音響などの課題により非現実的であり、「学会や各種団体の会議」については本文の記述から削除すべきである。	新体育館は、市民のスポーツ活動拠点としての機能をメインとして考えておりますが、スポーツ以外の機能として、会議、展示会、災害時の避難所など、可能な範囲で活用できるように整備していく考えです。学会や各種会議は、想定される例として記載しております。		伊波 野	60
55	パブ コメ	6. 施設の構成と想定規模	6.2施設の構成と想定規模	1	医務室は本当にいるのか？また医師が常駐するのか？必要ないのでは？	ケガをしたり、気分が悪くなった利用者のために必要であると考えっております。なお、医師の常駐は考えておりません。		出西	30
56	パブ コメ	6. 施設の構成と想定規模	6.2施設の構成と想定規模	2	施設の構成として、1つプールの設置を希望したい。市民の日常的なスポーツ活動や健康づくりにもなり、また避難所施設として、災害時の貯水としても利用できる(飲料水)にできるような設備も必要と考えます。	プールについては、平成27年に「出雲市公共施設のあり方指針」を策定し、市内に1か所プールが必要とされており、出雲プールについては既に廃止されていますが、現在平田磐石山プールがあることから、新たなプールを新設する考えはありません。		今市	30
57	パブ コメ	6. 施設の構成と想定規模	6.2施設の構成と想定規模	3	会議スペースや60人くらい収容できるような会議室を設置していただきたい。	各種会議・研修会などに利用できる、多目的室・会議室・大会役員室を設置する考えです。		川跡	30

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代
58	パブ コメ	6. 施設の構成と想定規模	6.2.施設の構成と想定規模	4	過去の大会での利用実績から、固定の観客席を1,000席としてあるかもしれないが、国体での利用等一定規模の大会開催を想定しているのだから、観客席が少ないうちに感じる。また、現在の人口に対して設計されているかもしれないが、今後の人口推移を考えてこれだけの費用をかけた施設が必要か、無駄な設備を見直して建設費用を削減できないか考える必要があるように感じる。	観客席については市大会等の開催実績を踏まえ、固定席は1,000席程度とされておりますが、折りたたみ椅子の活用などにより一時的に増やすことは可能です。 なおお新体育館の想定規模については、17万都市にふさわしい市民のスポーツ活動拠点としての規模と機能が必要であると考慮しており、建設にあたっては、有利な財源を活用し、経費削減に努めながら整備を進めていく考えです。		高松	30
59	パブ コメ	6. 施設の構成と想定規模	6.2.施設の構成と想定規模	5	屋内プール施設の併設	新体育館に屋内プールを設置する考えはありません。		荒木	30
60	パブ コメ	6. 施設の構成と想定規模	6.2.施設の構成と想定規模	6	部活の合宿等で利用できる宿泊施設の併設	新体育館に宿泊施設を併設する考えはありません。		荒木	30
61	パブ コメ	6. 施設の構成と想定規模	6.3.屋外機能	1	費用が問題になるかと思いますが、駐車場の収容台数を増やすために立体駐車場があればかなりの台数を収容できるかと思えます。	駐車場は、1,000席程度の観客数を考慮し、400台程度を想定しています。さらに隣接する鳥居県立大学出雲キャンパス(駐車場)との相互利用を検討していく考えです。		湖陵	30
62	パブ コメ	6. 施設の構成と想定規模	6.4.付随する機能	1	以前、中国大会規模の大会を引き受ける検討をした結果、大人数が集合できる会場がなく、松江で開催されました。大変な経済効果が見込まれるのにも、嬉しいことであった。今秋、ある団体の中国規模の大会が開催され、親善会では出雲ドームで開催することとなったが、火の使えない会場では大変だと思える。新体育館には、スポーツだけでなく、全国的な集客、ライブ、各種イベントができるよう配慮してほしい。また、ドームでの音楽会では、音響の悪さが目立つが。新体育館ではその点も考えてほしい。限られた予算であると思うが。	新体育館は、市民のスポーツ活動拠点としての機能をメインとして考えておりますが、体育館という広さを生かして、スポーツ以外の機能として、会議、展示会、災害時の避難所などとしても、活用できるように整備することとしており、音響についても可能な範囲で配慮する考えです。		今市	70
63	パブ コメ	6. 施設の構成と想定規模	6.4.付随する機能	2	災害時の避難施設として電気設備・給排水衛生設備・エレベーター等は災害時の復旧時間が短いことが望まれます。	ご意見は参考とさせていただきます。		市外	50
64	パブ コメ	6. 施設の構成と想定規模	6.4.付随する機能	3	コンベンション機能を弄させ40歳のダブル成人式、スポーツを通じた出会いの場、数年に一度高校生による合同文化祭など、まちの活性化につながるイベントをやっていくのも良いと思います。	新体育館は、市民のスポーツ活動拠点としての機能をメインとして考えておりますが、スポーツ以外の機能については、会議、展示会、災害時の避難所など、可能な範囲で活用できるように整備していく考えです。ご意見は参考とさせていただきます。		高松	30
65	パブ コメ	6. 施設の構成と想定規模	6.4.付随する機能	4	避難所機能はあったほうが良いと感じるが、防災の主たる拠点とならないように考えてもらいたい。また、もう少し小高いところや地盤がしっかりしているところへの建設など。	新体育館については、第一義的には、全ての市民のスポーツ活動拠点としての役割が最も重要であり、付加機能として避難所などの多目的に活用することとしております。災害の種類は、土砂災害、地震、大規模火災等様々であり、また、被災範囲や規模も実際の災害ごとに異なります。そのため、災害発生のおそれのある場合は、災害の種類や進展の可能性について検討し、施設や避難経路の安全性の確認ができた指定避難所を開設することとしています。 出雲市内は、平野部のかなりの部分を受けられる可能性があると考えられていますが、実際に浸水が発生する地域は、降雨量や降雨場所によって異なるため、浸水害の可能性を員極め、被害が発生する前に開設することになります。したがって、新体育館の避難所としての役割については、浸水する可能性のある地域に位置する他の指定避難所と同様であると考慮しています。また、新体育館には、避難者の食料や寝具材及び備品等を保管する備蓄倉庫を確保することとしており、災害の際に役立つと考えております。		出西	30
66	パブ コメ	6. 施設の構成と想定規模	6.4.付随する機能	5	新体育館の機能面と立地計画の妥当性 現在の建設計画では、災害時の避難施設としても計画にありました。建物自体を2m高上げての建設に対し、浸水地域に嵩上げしても建物までたどり着けない人はどうするのかまで含め計画をすべきである。また、災害が起きた際に、市民は必ず市役所をめざすと思われるが、市役所周辺に避難施設が必要ではないのか。	同上 市役所周辺の避難所については、今市小学校(体育館)、サン・アピリティーズいずも等を指定避難所としています。		高松	30

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代
67	パブ コメ	6. 施設の構成と想定規模	6.4.付随する機能	6	新体育館は、あくまでスポーツのための機能を充実させることに特化するべきだと思います。それ以外の用途、特に災害時の避難所としての機能について様々な意見があるのをご考慮すべきではないのかなと思います。ファミリーナとの関係は上手に配分し、地域スポーツの発展、市民の健康推進を実現できる施設であれば良いと思います。また、合宿機能が充実した体育館施設は面白い案だと思います。災害・コンベンション機能などは一緒にするべきではないと考えます。	新体育館は、市民のスポーツ活動拠点としての機能をメインとして考えております。スポーツ以外の機能については、会議、展示会、災害時の避難所など、可能な範囲で活用できるように整備していく考えです。新体育館に合宿機能を併設する考えはありません。		高松	30
68	パブ コメ	6. 施設の構成と想定規模	6.4.付随する機能	7	災害時にも利用できる体育館だと安心します。子どもから老人まで安全に利用できる施設してほしいです。	新体育館については、第一義的には、全ての市民のスポーツ活動拠点としての役割が最も重要であり、付加機能として避難所などの多目的に活用することとしております。災害の種類は、土砂災害、地震、大規模火災等様々であり、また、被災範囲や規模も実際の災害ごとに異なります。そのため、災害発生のおそれのある場合は、災害の種類や進展の可能性について検討し、施設や避難経路の安全性の確認ができた指定避難所を開設することとしています。		高松	30
69	パブ コメ	6. 施設の構成と想定規模	6.4.付随する機能	8	体育館の防災機能を充実させてほしい。水災害時、新体育館までたどりつけるようにしてほしい。	出雲市内は、平野部のかなりの部分が浸水を受けると考えられるため、浸水が想定される地域は、降雨量や降雨場所によって異なるため、浸水の可能性を算極め、被害が発生する前に開設することになります。したがって、新体育館の指定避難所としての役割については、浸水する可能性がある地域に位置する他の指定避難所と同様であると考えています。	同上	長浜	30
70	パブ コメ	7. 施設基本計画	7.1.ゾーニング・動線計画	1	共用ゾーンを広く計画し、明るく開かれた計画にして市民交流の場としての整備が必要であると思います。共用ゾーンで子どもをのびのびと遊ばせる機能を持たせてほしいです。	多くの市民が利用できる、憩いの広場を設置する考えです。ご意見は参考とさせていただきます。		塩治	30
71	パブ コメ	7. 施設基本計画	7.1.ゾーニング・動線計画	2	(1)の2段目に「…備蓄倉庫を確保します」とあるが、P13の施設構成、P14のゾーニング・動線計画にも記載がないため、備蓄倉庫の配置も明記すべきである。	ゾーニング・動線計画は、イメージであり、今後詳細の設計の中で検討していきたいと考えております。		四絡	30
72	パブ コメ	7. 施設基本計画	7.1.ゾーニング・動線計画	3	「ゾーニング・動線計画」において、更衣室がメインアリーナに面して2つ計画させているが、防犯上の観点からサブアリーナ用にも2つ設けるべきである。	ご意見は参考とさせていただきます。		四絡	30
73	パブ コメ	7. 施設基本計画	7.3.構造計画	1	災害時の避難施設として斐伊川が天井川である為、洪水に対する対策が必要です。	新体育館については、想定される最大の浸水高の洪水が起ころうとしても浸水しないよう敷地を嵩上げる予定です。新体育館には、避難者の食料や資機材及び備品等を保管する備蓄倉庫を確保することとしており、洪水の規模にもよりますが、避難所としての活用は可能と考えっております。		市外	50
74	パブ コメ	7. 施設基本計画	7.3.構造計画	2	(1)造成工事は前述の通り整備用地全体を高くするのではなく、一時避難場所としての体育館と丘陵を嵩上げし、全体を高くする必要はないと思います。	ご意見は参考とさせていただきます。		塩治	30

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代
75	パブ コメ	7. 施設基本計画	7.3.構造計画	3	「構造計画」造成工事において、「…想定最大規模の洪水時に体育館が浸水しない高さを確保するため、前面道路との高低差2.0m程度の造成を行います。」との記載があるが、「出雲市地域防災計画(平成30年5月版)」には、避難所の立地条件として、「河川(斐伊川)浸水想定区域外にあることを基本とする」とあり、例外としても「想定水位以上の高さに避難をしてきた避難者等を受け入れる部分があり、かつその部分までの有効な避難路がある」という発言があるが、大規模水害等では、別の場所を避難所として考えることになる。」との発言があるが、大規模水害等で、浸水想定区域内の建設予定地周辺の道路も使用できない状態ならば、その道路は「有効な避難路」に該当しないのではないかと、であるならば、避難所としての設置要件は満たしておらず、浸水時の避難所の記載は控えるべきである。3月26日の審議会において、液状化現象への対応について委員から意見が出ているが、液状化現象への対応についても記載すべきである。	新体育館については、第一義的には、全ての市民のスポーツ活動拠点としての役割が最も重要であり、付加機能として避難所などの多目的に活用することとしております。土砂災害、地震、大規模火災等様々であり、また、被災範囲や規模も実際の災害ごとに異なります。そのため、災害発生時の恐れのある場合は、災害の種類や進展の可能性について検討し、施設や避難経路の安全性の確認ができた指定避難所を開設することとしています。	四絡	30	
76	パブ コメ	7. 施設基本計画	7.3.構造計画	4	水害に対する対策が不十分に感じます。先日仙台に行き、津波被害からの復興の現状を見たが、海に近い地域では、10メートルの造成が行われていました。洪水に備えて、2メートルの造成が行われるとのことですが、本当にその程度の造成で十分なのか、不安に感じます。	新体育館については、想定される最大の浸水高の洪水が起こっても浸水しないよう敷地を高上げる予定です。新体育館には、避難者の食料や資機材及び備品等を保管する備蓄倉庫を確保することとしており、洪水の規模にもよりますが、避難所としての活用は可能と考えております。津波被害想定調査報告書による津波が想定される地域ではありません。万一の場合に指定避難所として活用可能と考えています。	今市	30	
77	パブ コメ	7. 施設基本計画	7.4.設備計画	1	「省エネルギーへの配慮」に関して、建築資材等環境に配慮した資材、工法についても検討し、記載すべきである。	基本コンセプトにおいて、「人や環境にやさしい体育館を掲げており、省エネルギー一化に努め整備していきたいと考えております。		四絡	30
78	パブ コメ	7. 施設基本計画	7.4.設備計画	2	センタービジョンを設置する計画はないのか。	現時点では、設置の考えはありません。		大社	30
79	パブ コメ	7. 施設基本計画	7.4.設備計画	3	スポーツ以外にも多目的に使えるような音響や照明にしてほしい。	新体育館は、市民のスポーツ活動拠点としての機能をメインとして考えておりますが、体育館という広さを生かして、スポーツ以外の機能として、会議、展示会、災害時の避難所などとしても、活用できるように整備することとしており、音響・照明についても可能な範囲で配慮したいと考えております。		大津	30
80	パブ コメ	7. 施設基本計画	7.8.概算事業費	1	出雲市は財政難ですが、新体育館は50億円以上の資金を使って建設するようだが、今後の出雲市財政は大丈夫なんでしょうか、市民の生活も考えておられますでしょうか？私たちの税金を大切に使用してほしいです。	概算事業費については、今後の設計や、資材・労務費の変動等により変更となる可能性があります。建設にあたっては、有利な財源を活用し、経費削減に努めながら整備を進めていきたいと考えております。		高松	40
81	パブ コメ	7. 施設基本計画	7.8.概算事業費	2	予算が2転3転した理由を説明すべし。	概算事業費の増については、平成30年3月の整備コストの比較の際には含めていなかった設計などの業務委託費や備品購入費などを加えてあらためて計上したため増となっております。なお、この概算事業費は、今後の設計や、資材・労務費の変動等により変更となる可能性があります。建設にあたっては、有利な財源を活用し、経費削減に努めながら整備を進めていきたいと考えております。		高松	60
82	パブ コメ	7. 施設基本計画	7.8.概算事業費	3	建設に伴う、一部の関係者(地権者、建設業者、その他)の利権で終わり、将来を見据えた財務体質が不健全では、税金の無駄づかい。	建設にあたっては、有利な財源を活用し、経費削減に努めながら整備を進めていきたいと考えております。		高松	60

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代
83	パブ コメ	7. 施設基本計画	7.8.概算事業費	4	当初50億円程度であったのが、なぜ58億円になったのか。地盤が悪いので、最終的には60億円を超えるのでは。	概算事業費の増については、平成30年3月の整備コストの比較の際には含めていないかといった設計などの業務委託費や備品購入費などを加えてあらためて計上したため増となっているかとあります。なお、この概算事業費は、今後の設計や、資材・労務費の変動等により変更となる可能性があります。建設にあたっては、有利な財源を活用し、経費削減に努めながら整備を進めていく考えです。		高松	60
84	パブ コメ	8. 運営方針	8.1.管理運営方針	1	将来の運営、経営計画について説明すべし。収支バランスはどうか。	ランニングコストについては、他市の類似施設の状況を踏まえ想定している金額です。管理運営方針のとおり、効率的な施設管理、運営を行い、経費削減を図ります。		高松	60
85	パブ コメ	8. 運営方針	8.1.管理運営方針	2	現行の体育館を利用している人たちにとって、活動状況が著しく増なれないようにしたい。同時に、その利用者で、新体育館の利用が理まらなないように取り戻らっていただきたい。	メイン・サブの2つのアリーナを設けるとともに、アリーナを分割利用可能とするなど、できるだけ多くの方が利用できるようにしていきたいと考えております。		川跡	30
86	パブ コメ	8. 運営方針	8.1.管理運営方針	3	平田体育館が取り壊されることによって、不便が無いような体育館にしてほしい。	同上		荘原	30
87	パブ コメ	8. 運営方針	8.1.管理運営方針	4	これまで、斐川や平田の体育館を使用されている方々にとつて、既存の体育館の解体後に、ご不便をおかけないように新体育館や既存の学校体育館の利用方法が検討されるべきだと考えます。	同上		湖陵	30
88	パブ コメ	8. 運営方針	8.2.維持管理・運営費	1	ランニングコストが9,000万円は、将来負担を解消することができるのか。根拠を数値で公表してほしい。	ランニングコストについては、他市の類似施設の状況を踏まえ想定している金額です。管理運営方針のとおり、効率的な施設管理、運営を行い、経費削減を図ります。		高松	60
89	パブ コメ	8. 運営方針	8.2.維持管理・運営費	2	維持管理運営費として9,000万円を計上されていますが、他の施設(例えば文化伝承館は約7,000万円)等、この規模としてはもつとかかるのでは？と考えます。	同上		高松	70
90	パブ コメ	8. 運営方針	8.2.維持管理・運営費	3	出雲市体育館の建設費用自体は、一時的にかかるとは費用ですが、体育館の維持運営に係る費用、ランニングコストが大きくなれば、今後の出雲市財政にとつて継続して賄わなければならない負担となります。基本計画(案)を見させるともらうと、様々なプロスポーツの開催やスポーツ以外の使われ方など、様々な利用方法を想定された体育館という考え方は素晴らしいと思いますが、ランニングコースやボルダリング設備など、特定の使い方に限った設備は今後の施設維持において大きな費用負担につながるかと考えます。コンパクトな施設を作ってほしいということではなく、あまり色々な機能を付け足していくと今後の維持管理において大きな負債となりますので、シンプルな体育館を目指してほしい。	新体育館は、市民のスポーツ活動拠点としての機能をメインとしつつ、可能な範囲で、各種団体の会議、展示会、災害時の避難所等に活用できるように整備することとしており、設備は限定する考えです。ランニングコストについては、他市の類似施設の状況を踏まえ想定している金額です。管理運営方針のとおり、効率的な施設管理、運営を行い、経費削減を図ります。		塩治	30
91	パブ コメ	8. 運営方針	8.2.維持管理・運営費	4	運営において、広告を募集するなど、ランニングコストを減らす工夫はあるのか？	ランニングコストについては、他市の類似施設の状況を踏まえ想定している金額です。管理運営方針のとおり、効率的な施設管理、運営を行い、経費削減を図ります。		大社	30
92	パブ コメ	8. 運営方針	8.2.維持管理・運営費	5	施設の維持管理が年間あるいは月間いくらかかるのか。管理者という部分では、民間から募っても良いと思います。	ランニングコストについては、他市の類似施設の状況を踏まえ想定している金額です。管理については、民間の運営を想定しています。		川跡	30
93	パブ コメ	9. 事業手法		1	PFI手法等を検討するとありますが、尖ったコンセントや運営のノウハウ等の民間活力の導入は従来型でも可能であると思います。	ご意見は参考とさせていただきます。		塩治	30

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代
94	パブ コム	9. 事業手法			事業手法については、「今後決定することとします」とあります。いつ決定されるのか。市民の意見を十分に聞かなければいけません。市内部だけで検討され、決定されてはなりません。 2 平成30年度と令和元年度に(株)最大に業務委託していますが、今ここに至っても事業手法が明示されないのではあれば、業務委託した意味がありません。何故出せないのでしょうか。	事業手法については、スポーツ振興審議会においていただいた意見を尊重し、現在業務委託している事業者の調査結果に基づき、各々の手法のメリット・デメリットを精査した上で、事業成立のための諸条件、事業スケジュールなど十分検討した上で、方針を決定していきたいと考えています。		大津	60
95	パブ コム	9. 事業手法		3	PF方式について、結論を出してからパブリックコメントを募集しても良かったのではないかと。	同上		大杜	30
96	パブ コム	全般	全般	1	私には中学生の子もいます。松江、雲南・・・他の市では中学生まで医療費が無料だと聞いています。医療の面でも考えて頂きたい。	ご意見は参考とさせていただきます。		高松	40
97	パブ コム	全般	全般	2	市民の意見を聞く努力をする。 パブリック・コメントといっても、いつ頃、どういう形で出ているのか、多くの市民は解かっていない。もっと広く市民に伝わるよう、市民の意見を聞く努力をする。	現在、市ホームページにおいて、体育館建設に関する情報コーナーを開設するとともに、市の広報紙へ基本計画策定の状況や市民の声を掲載し、広く情報を発信するよう取り組んでいこうとされています。引き続き「市民の皆さんに親しまれる体育館」となるよう幅広く市民の意見を伺う努力をしてまいります。		高松	60
98	パブ コム	全般	全般	3	維持費を含めた20年～30年後の出雲市の財政状況予測シミュレーションがなされているのか。なされていければ公表してほしい。もしなされていなければ、すずさんと言わざるをえません。	新体育館の建設及び維持経費については、基本計画の7.8概算事業費、8.2維持管理・運営費に記載しましたとおりです。年度ごとに係る費用については、事業手法によって異なりますので、現時点ではシミュレーションはしていません。		高松	60
99	パブ コム	全般	全般	4	将来の市民に影響する財政負担(年金、子育て支援、介護費など)をよく考慮し、市民の合意を経て方針を決定してほしい。例えば、各自自治会の会長会の意見を集約するとか。 日常的に市は、地域密着の活動をおられる自治協会を重視し、会長会を開催しているが、肝心の地域の大事業の体育館事業については、自治協会にはなぜ意見聴取などがないという声や、佐田、高松など5つくらい地域の会長が言っておられた。そのような会議を開く考えがありますか	『新体育館建設基本計画』の策定にあたっては、「出雲市スポーツ振興審議会」に諮問し、これまで計8回開催し、基本計画案がまとまったところから審議会にあっては、市民説明会、各競技団体説明会、市民の皆さまからの意見募集のほか市議会など、多くの皆様の様々なご意見を踏まえ議論していただいております。 今後、市の広報紙への掲載など、広く情報を発信しながら、整備を進めていきたいと考えています。		高松	60
100	パブ コム	全般	全般	5	平田地区で5年以内のやや規模の小さい体育館建設の計画があると平田自治会のいろいろな方から聞きますが、どうですか。本当なら新体育館との整合性が全くないのでは。	平田地区で体育館を新たに建設する予定はありません。		高松	60
101	パブ コム	全般	全般	6	ランニングコストは年9,000万円が見込まれていますが、廃止予定の3体育館のランニングコストの合計は4,000万円です。倍以上に増えますが、その原因のひとつは、全館空調する計画であり、光熱水費が高くなるとともに、空調設備の保守点検費用も大幅に増加します。また、職員配置については、廃止予定の3体育館で5人であったものを、新体育館では10人に増やす計画であり、人件費が増大します。要するに、新体育館は建設費ばかりでなく、維持管理費も多額の費用がかかる施設が計画されています。建設場所をはじめ、規模、建設費、維持管理費を抜本的に見直すことが不可欠です。 本市も、人口減少は避けられず、15～64歳の生産年齢人口が大きく減少する反面、高齢者人口は増加します。次世代の市民に大きな負担がかかからないように考えることが肝要です。そうでなければ無責任です。	ランニングコストについては、本市の更なるスポーツ振興を図ることや、多様化する市民ニーズに対応するためには、「17万都市にふさわしい市民の活動拠点」としての規模と機能を持った新体育館の整備が必要であると考えております。建設場所については、変更する考えはありませんが、建設費(概算事業費)については、今後の設計や、資材・労務費の変動等により変更となる可能性があります。建設にあたっては、有利な財源を活用し、経費削減に努めながら整備を進めていきたいと考えております。 ランニングコストについては、他市の類似施設の状態を踏まえ想定している金額です。空調設備は、利用者の快適性のために必要であると考えており、職員については、施設の維持管理だけでなく、市民のスポーツ活動拠点として、健康増進のための各種プログラム等を主催するなど、質の高いサービスを提供するために必要な人数を確保する考えです。 なお、管理運営方針のとおり、効率的な施設管理、運営を行い、経費削減を図ります。		大津	60
102	パブ コム	全般	全般	7	トレーニング、コンサート、会議など様々な活用があると思いますが、体育館で行われる取組の魅力を広めることも必要な中で、ホームページを利用しリアルタイムで中継や、SNSでの拡散も重要になると思います。	ご意見は参考とさせていただきます。		神西	30

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代
103	パブ コメ	全般	全般	8	出雲市は、高齢者の割合が高いので、健康増進のためにお年寄り用の運動プログラムを組んだり、サイバービスの運動施設としても活用できます。さまざまな年代の方が日常的に使える体育館であるように整備を充実してほしいと思っています。	幅広い年代に使っていただけたらいい体育館を目指します。 ご意見は参考とさせていただきます。		四絡	30
104	パブ コメ	全般	全般	9	観光を重視して、外から来る人がアクセスしやすい環境、英語表記などの配慮も必要だと思います。気軽にネットで予約できたり、WEB決済などの導入など時代に即した工夫があると良いと思います。	ご意見は参考とさせていただきます。		今市	30
105	パブ コメ	全般	全般	10	新体育館供用後5年後には、旧平田市には主たる体育館が無くなることとなるが、そのための建設予定地選定に感じる。平田の体育館は残り、他の方策は考えられないのか？	平田の体育館については、建設から約50年が経過し、老朽化が進んでいることから廃止を予定しております。		出西	30
106	パブ コメ	全般	全般	11	17万都市としての代表的な体育館にしたいとの思いは分かるが、各競技団体が言うことをすべて受け入れたからと言ってよい体育館になるのかはわからない。そもそもスポーツ文化都市、出雲の創造というキャッチフレーズが市民に浸透していない時点で関心が薄い。出雲市としては、廣々と進めたいのかもしれない(計画の初段階でのアピールがほとんど感じられない)。計画がそこそこ固まってからの意見は通りにくい)が、それこそが問題だと感じる。出雲市からビッグプロジェクトだということからは、阿国座の建設問題の時のような市民の責任が今一度必要なのは？	『新体育館建設基本計画』の策定にあたっては、「出雲市スポーツ振興審議委員会」に諮問し、これまで計8回開催し、基本計画案がまとまったところで、審議にあたっては、市民説明会、各競技団体説明会、市民の皆さまからの意見募集のほか市議会議案など、多くの皆様のご意見を踏まえ議論していただいております。 今後、市の広報紙への掲載など、広く情報を発信しながら、整備を進めていきたいと考えています。		出西	30
107	パブ コメ	全般	全般	12	今回、計画の新体育館は、規模、施設内容、立地条件ともことでも使いにくいイメージがあります。出雲市が捻出できる予算内におさまるような、安価で済ませようと思つての計画であれば良いかと思いますが、巨額の税金(国・地方自治体を問わず)を投入して作られるべき代物ではないと思えます。出雲市には必要ないかと割り切り、既存の体育館をキリキリまて使用するか、逆に出雲市に市民がもつてあつてほしい巨額投資だと考えている。今回の計画では、現在の出雲市体育館がよつと新しくなつた程度の物にしかならないので、浜山カミアリーナやその他の体育館と連携しないといけない大会は開催できません。でもそれならこれまでの体育館、出雲市の取組でもやってきたことではないでしょうか？現行の出雲市体育館と同じ位置づけのものに、50億円以上の資金を投入することが、日本国民としては、自分たちの取組んでいる税金の無駄遣いといふか、言い方がありませんし、国や街をよくしていく運動にはなり得ないと思います。	出雲市体育館、平田市体育館及び斐川第2体育館の老朽化が進み、廃止が予定されている中で、本市の更なるスポーツ振興を図ることや、多様化する市民ニーズに対応するためには、「17万都市にふさわしい市民の活動拠点」としての規模と機能を持った新体育館の整備が必要であると考えております。		今市	30
108	パブ コメ	全般	全般	13	利用について カミアリーナと同等の体育館があつても意味がないように感じるので、どのよう に差別化できるのか、全国規模の大会や様々なイベントに対応できるような使 用も検討してもらいたい。予算には限りがあるかと思いますが、田利本荘市の 例を見ると、しっかりとしたビジョンを持ち、議論して取り組めば新たな価値を 生む投資は必要であると感じた。	新体育館は、市大会が開催できるほか、市民の日常的なスポーツ活動や健 康づくりの拠点という位置づけとしたところ。一方で、県立浜山体育館は、 県大会、中国大会、全国大会といった大規模な大会やスサノオマジックの公 式戦などのプロスポーツ向け使用が想定されており、新体育館との役割分担 を図りつつ、県立浜山体育館と新体育館の連携を図ることで、これまで以上の 大規模大会の誘致も可能になると考えています。		今市	30
109	パブ コメ	全般	全般	14	全国規模のスポーツ大会や各種大規模イベントを開催するうえで出雲市駅 や出雲空港等からのアクセスのしやすさはどのよう考慮されているの でしょうか？借地施設は駅周辺に固まっています。アクセスのし易さが各種イベ ント、大会を誘致するうえでも重要なポイントだと考えます。	「17万都市にふさわしい市民のスポーツ活動拠点」として多くの市民に使って いただけるよう、建設予定地は、市の中心部に近く、主要幹線道路からのアク セス道が整備されており、一畑電車の結節点である川跡駅近くにある県立 大学出雲キャンパス東側としました。		今市	30
110	パブ コメ	全般	全般	15	スポーツに余程興味がないと、普段なかなか体育館を活用することはないと 思います。スポーツに興味なくても、家族でいつでも立ち寄れるような人が 集う工夫をしてほしいと思います。雨の日に子どもを連れて行ける楽しめる場 所、年齢を問わず活気あふれる体育館を期待している。	「市民が集う」体育館を基本コンセプトに掲げているとおり、スポーツ関係者の みならず、多くの市民が利用できる体育館になるよう計画を進めていく必要が あると考えております。		神門	30

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代
111	パブ コメ	全般	全般	16	出雲市新体育館1棟を建設するにあたり、中途半端な規模と機能ではなく、市民が建設を楽しみと思える計画にすべきである。	新体育館は「17万都市にふさわしい市民のスポーツ活動拠点」として7つのコンセプトのもと市民が気軽にスポーツ、体カづくりができ、市大会等が開催できる市の拠点体育館として整備します。 また、比較的近くに位置している県立浜山体育館と新体育館の連携を図ること、これまでに以上の大規模大会の誘致も可能になると考えています。		高松	30
112	パブ コメ	全般	全般	17	市民の声を幅広く集めるパブリックコメントについての意見を求める際に、予算規模にに応じてパブリックコメントの周知の仕方を異直す必要がある。ほとんどの市民がこのパブリックコメント自体を知らなすぎる。このことは市民主体の考え方を疎かにし、行政だけの表面的な納得に他ならない。パブリックコメント以外にも、事前に街頭アンケートや地域住民から意見を集約して行うべきであると考ええる。	『新体育館建設基本計画』の策定にあたっては、市民の代表者で構成する「出雲市スポーツ振興審議会」に諮問し、これまで計8回開催し、基本計画案がまとまったところで、市民説明会、各競技団体説明会、市民の皆さまからの意見募集のほか市議会など、多くの皆様の様々なご意見を踏まえ議論していただいております。パブリックコメントについては、ホームページで周知しており、1か月以内に意見の募集を行ったところでは、ホームページで周知していただき、今後も、市民の皆様のご意見に耳を傾け、広く情報を発信しながら、整備を進めていきたいと考えています。		高松	30
113	パブ コメ	全般	全般	18	今後の出雲市の発展に向けて確かに税金の大切さ、無駄を省くことや削減することは必要であるが、削るより未来に対するビジョンと計画があれば、田利本庄市のように、まちの活性化につながるかと考える。未来投資を市民が夢を持って、故郷に誇りがもてる、故郷に帰りたいくなるまちにすべく、検討を願いたい。	ご意見は参考とさせていただきます。		高松	30
114	パブ コメ	全般	全般	19	跡地問題を含めたビジョンと計画性 このまま計画が進むのであれば、現在の3体育館の跡地利用を含めた計画が必要である。	現段階において、跡地利用について、具体的な計画はありませんが、個々の除却の時期の検討に併せ、今後検討する必要があると考えています。		高松	30
115	パブ コメ	全般	全般	20	3つの体育館をなくす方向で話しを進めているが、特に平田地域の理解は得られていないのか？	このことについては、平成27年に「出雲市公共施設のあり方指針」を策定し、建築から約50年が経過した出雲体育館、平田体育館、斐川第2体育館については、老朽化により安全性、耐震性等に問題があるため、廃止の方針となったところです。 「出雲市公共施設のあり方指針」の策定において、平田地域も含め、各地域協議会に出席して説明を行い、意見聴取を行っております。平田体育館については、耐震性、安全性等の問題から廃止はやむを得ないとの意見を伺っています。		大社	30
116	パブ コメ	全般	全般	21	カミアリーナと連携することで、全国大会などが呼べるような施設にしてほしい。	新体育館は、市大会が開催できるほか、市民の日常的なスポーツ活動や健康づくりの拠点という位置づけとしたところです。一方で、県立浜山体育館は、県大会、中国大会、全国大会といった大規模な大会やスサノオマジャックの公式戦などのプロスポーツ向け使用が想定されており、新体育館との役割分担を図りつつ、県立浜山体育館と新体育館の連携を図ること、これまでに以上の大規模大会の誘致も可能になると考えています。		大社	30
117	パブ コメ	全般	全般	22	地元住民が利用しやすい施設にしていきたい。例えば、利用料金体系・施設利用状況の確認及び予約システムの構築、トレーニング施設や憩いのスペース・情報共有の場の確保。災害時の備品貯蔵スペース、動線の確保、バリアフリー等。	現段階で、憩いの広場、情報提供スペース、備蓄倉庫の設置のほかバリアフリー化にも努め、市民のみならず利用しやすい体育館にしていきたいと考えております。		川跡	30
118	パブ コメ	全般	全般	23	ただのスポーツの場としての機能だけでなく、文化の創造・発信の場でもあってほしい。例えば、外観を地元の学生がデザインをする。また、壁紙等絵が描けるようにするとか。	ご意見は参考とさせていただきます。		川跡	30

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代
119	パブ コメ	全般	全般	24	<p>新体育館の建設に関して、あの場所が防災上、本当に安心、安全なのか？カリアリーナのような体育施設があり、それと類似した施設にしか思えず、同じような施設はほか所もないのでは？と思ってしまう。新体育館にしかない特色をもう少し打ち出し、場所の精査や、活用や運用方法など、もう少し時間をかけて市民の声をしっかりと聴く場を設け話し合ったほうがいいのではと思います。</p>	<p>新体育館については、第一義的には、すべての市民のスポーツ活動の拠点としての役割が最も重要であり、市大会が開催できるほか、市民の日常的なスポーツ活動や健康づくりの拠点という位置づけをしたところである。また、県立浜山体育館は、県大会、中国大会、全国大会といった大規模な大会やスサノオマジックの公式戦などのプロスポーツ向け使用が想定された施設であり、新体育館との役割分担を図りつつ、県立浜山体育館と新体育館の連携を図ること、これ以上の大規模大会の誘致も可能になると考えています。</p> <p>避難所機能については、全ての災害に対応することは困難だと考えており、可能な範囲で付加していく考えです。災害の規模や種類によっては十分に指定避難所としての使用が可能と考えています。</p> <p>なお、『新体育館建設基本計画』の策定にあたっては、「出雲市スポーツ振興審議会」に諮問し、これまで計8回開催し、基本計画案がまとまったところである。審議会にあたっては、市民説明会、各競技団体説明会、市民の皆さまからの意見募集のほか市議会など、多くの皆様の様々なご意見を踏まえ議論していただいております。今後も、市の広報紙への掲載など、広く情報を発信しながら、「市民の皆さまに親しまれる体育館」となるよう整備してまいります。</p>	神西	30	
120	パブ コメ	全般	全般	25	<p>以前、市の説明で、「市民が活用する、市民のための体育館建設を目指す」との想いを語られていたと思いますが、合併からもう15年が経過しますが、まだ、旧市と各市町住民間で溝があるように感じます。大きな出雲市として、市民のためのランドマークとなる新体育館の建設には期待しています。ところで、市は何をもって「市民のため」とお考えでしょうか？利用率でしょうか？収益率でしょうか？市民の意見を反映したものでしょうか？市民の健康促進のためにどの程度の数値があげられるのでしょうか？それが、具体的にどの程度の数値があげられるのか、市民の健康が達成されたとお考えなのでしょうか？実際に市民のための体育館になるのは使用開始後です。それまでも、それからも多額の税金が投入される事業になります。目的と予測される事業の効果について具体的な数値をもっと説明願います。</p>	<p>新体育館の建設については、(1)「スポーツをすすめる」体育館(2)「スポーツをみる」体育館(3)「スポーツをささえる」体育館(4)「市民が暮らす」体育館(5)「人や環境にやさしい」体育館(6)「豊かに配属した」体育館(7)「多用途使用に配慮した」体育館(8)「アートのコンセプトを掲げ、本市の更なるスポーツ振興を図ることや、多様化する市民ニーズに対応するための、11万都市にふさわしい市民の活動拠点としての規模と機能を持った新体育館の整備が必要であると考えております。</p> <p>なお、現時点で事業の効果について具体的な数値はお示しできませんが、8.1の管理運営方針に掲げているとおり、利用者にとって、安全・安心に利用できる施設となるよう努め、市民のみならずのご期待に応えられるよう努めてまいります。</p>	湖陵	30	
121	パブ コメ	全般	全般	26	<p>地元住民のために建設されることは十分承知ではありますが、県外のスポーツ団体や部活動、クラブチーム、プロスポーツ選手などが短期間トレーニングとして使用できる体制づくりと、そういった団体を誘致できるような体制作りを希望します。県内外を含めたスポーツイベントの開催、カリアリーナと連携し、全国規模の大会を見据えた運営を行っていただきたいです。より障がいのある方や高齢者がスポーツに取り組むことができるよう、ポッチャヤやソフトラレーボールなどの器具の導入を検討していただきたいです。</p>	<p>ご意見は参考とさせていただきます。</p> <p>新体育館は、市大会が開催できるほか、市民の日常的なスポーツ活動や健康づくりの拠点という位置づけをしたところである。一方で、県立浜山体育館は、県大会、中国大会、全国大会といった大規模な大会やスサノオマジックの公式戦などのプロスポーツ向け使用が想定されており、新体育館との役割分担を図りつつ、県立浜山体育館と新体育館の連携を図ること、これまで以上の大規模大会の誘致も可能になると考えています。</p>	四絡	30	
122	パブ コメ	全般	全般	27	<p>一般の若者や社会人がちよつとしたスポーツでしか使えないような必要のない体育館よりは、高齢者や生活習慣病等を患う方々への健康増進に特化した施設設備にして、出雲市の医療介護福祉の削減につながる体育館や地域行事等や非スポーツ的なものを主目的としたほうが良い。</p>	<p>新体育館は、市民のスポーツ活動拠点としての機能をメインとして考えております。スポーツ以外の機能については、体育館という広さを生かして、会議、展示会、災害時の避難所など、可能な範囲で活用できるように整備していく考えです。</p> <p>また、隣接する県立大学との連携により、市民のための医療・健康管理系のイベントの開催が可能となるなど高齢者や生活習慣病等を患う方々を含めた幅広い健康増進に繋がる活用ができると考えています。</p>	大津	30	
123	パブ コメ	全般	全般	28	<p>オンラインでの利用状況の確認と施設予約ができるようにしてほしい。</p>	<p>ご意見は参考とさせていただきます。</p>	塩冶	30	
124	パブ コメ	全般	全般	29	<p>新体育館に関係のある方々や周辺の方々にとっては関心の高い事柄ではありましたが、近隣でない地域の住民にとっては、まだまだ身近な話ではないので、出雲市全体を巻き込んで新体育館作りができるような広報活動がなされることを期待しております。</p>	<p>現在、市ホームページにおいて、体育館建設に関する情報コーナーを開設するとともに、市の広報紙へ基本計画案の状況や市民の声を掲載し、広く情報を発信するよう取り組んでおります。引き続き「市民の皆さまに親しまれる体育館」となるよう幅広く市民の意見を伺う努力をしてまいります。</p>	湖陵	30	

意見番号	区分	項目	小項目	項目番号	意見内容	市の考え方	修正	地区	年代
125	パブ コメ	全般	全般	30	北山を背景とした田んぼの広がる風景はまさに出雲らしい景色であると考え、新体育館ができることを伴い、もしかすると周辺も開発される可能性も考えられるので、無計画に埋めるのではなく、風景を大切にしたい。また、くまご配慮頂けたらと思います。	新体育館の周辺地域は、「出雲市景観計画」において、景観形成地域として指定されており、きめ細やかな景観形成基準を設けています。今後も、重点的に景観形成を図っていきたく考えております。		湖陵	30
126	パブ コメ	全般	全般	31	今までの体育館と異なり、現代では、体育館自体の収益性が求められていると思います。出雲市自体が収益性を求めないなら別ですが、ある程度しっかりとした収益追求できる設計にするべきだと思います。(民間の知恵の活用)	ご意見は参考とさせていただきます。 なお、管理については、民間の運営を想定しています。		市内	30
127	パブ コメ	全般	全般	32	カミアリーナと合同で大会を行えば、かなりの規模のイベント開催が可能で、全国各地から人が呼べます。中途半端な体育館にするより、プロスポーツの誘致を見据えていけるような本格的なスポーツ利用ができる体育館にするべきだと思います。	新体育館は、市大会が開催できるほか、市民の日常的なスポーツ活動や健康づくりの拠点という位置づけといたしております。一方で、県立浜山体育館は、県大会、中国大会、全国大会といった大規模な大会やササノオマジックの公式戦などのプロスポーツ向け使用が想定されており、新体育館との役割分担を図りつつ、県立浜山体育館と新体育館の連携を図ることで、これまで以上の大規模大会の誘致も可能になると考えています。		川跡	30
128	パブ コメ	全般	全般	33	スポーツ教室などイベントを催して有効活用してほしい。	ご意見を頂いたスポーツ教室の開催など市民の方に有効に活用していただければ幸いです。		長浜	30
129	パブ コメ	全般	全般	34	市民に向けた体育館の情報発信をしてほしい。	現在、市ホームページにおいて、体育館建設に関する情報コーナーを開設するとともに、市の広報紙へ基本計画策定の状況や市民の声を掲載し、広く情報を発信するよう取り組んでいるところです。引き続き「市民の皆さんに頼まれる体育館」となるよう幅広く市民の意見を伺う努力をしてまいります。		長浜	30
130	パブ コメ	全般	全般	35	新体育館に求めるものはありませんが、交通の面(新体育館への定期バスなどの充実や市民の方も利用しやすい料金設定など、県外県内の方を募集し、大きな大会を開催することも大事ではありますが、市民の年齢層に配慮なく誰もが安心して利用できる運動施設としての役割も果たせるような場所にして頂きたいです。	ご意見は参考とさせていただきます。		市内	20
131	パブ コメ	全般	全般	36	ビックハート出雲にて出雲市副市長も交えた討論会に参加しましたが、全国に向けてではなく、島根県内の大きな大会を主に開催される予定にあり、この度、大きな資金をかけて出雲市西米木にて新体育館を建設する予定にあり、島根県、もちろん出雲市の方々にまた来たいと思われる体育館の建設を望みます。出雲市新体育館しかない、特有の何か(大きなものでも小さなもので)アクセントを加えていただきたい。	新体育館は「17万都市にふさわしい市民のスポーツ活動拠点」として7つのコンセプトのもと市民が気軽にスポーツ、体づくりができ、市大会等が開催できる市の拠点体育館として整備します。 基本コンセプトのひとつに掲げる「市民が集う体育館をめざし、子どもから高齢者まで多くの市民が集う体育館をめざします」を踏まえ、子どもから高齢者まで多くの市民が集う体育館をめぐらします。 また、体育館の子サインについても「景観に配慮した体育館」とし、出雲らしさを配慮しながら北山や島根県立大学出雲キャンパスなど周囲との調和を図ったデザインとします。 市民利用を第一に考えていますが、市外からお越しになる方々にも「行ってみたい」「また来たい」と思っていたらいいと思います。 性能、運営などの検討を進めていきます。		高松	20

新体育館建設基本計画

令和元年（2019）9月
出雲市

— 目 次 —

1. はじめに.....	1
2. 出雲市の体育館の現状と課題	2
3. 新体育館整備の必要性	4
3.1. 新体育館整備の位置付け.....	4
3.2. その他の関連計画等	4
4. 建設予定地	6
4.1. 敷地概要	6
5. 基本コンセプト.....	8
6. 施設の構成と想定規模	10
6.1. 実施種目	10
6.2. 施設の構成と想定規模	10
6.3. 屋外機能	12
6.4. 付随する機能	12
7. 施設基本計画	14
7.1. ゾーニング・動線計画	14
7.2. コートレイアウト.....	15
7.3. 構造計画	19
7.4. 設備計画	20
7.5. 土地利用計画	21
7.6. 整備イメージ	22
7.7. アクセス	23
7.8. 概算事業費.....	24
8. 運営方針.....	24
8.1. 管理運営方針	24
8.2. 維持管理・運営費.....	24
9. 事業手法.....	25
10. 事業スケジュール	25

1. はじめに

東京 2020 オリンピック・パラリンピックを目前に控え「するスポーツ」、「見るスポーツ」への関心が今まで以上に高まっています。

本市では、「げんき、やさしさ、しあわせあふれる縁結びのまち 出雲」をまちづくりの将来像とし、6つの基本方策の1つである「環境・文化都市の創造」において、スポーツの振興に取り組んでいます。

この方針のもと、平成 28 年（2016）5 月に『「夢を育み、人を結び、まちが輝く」スポーツ文化都市・出雲の創造』を基本理念とした「出雲市スポーツ推進計画」を策定しました。この中で、「(1) スポーツがあふれるまちづくり、(2) スポーツを担う人づくり、(3) スポーツを支えるネットワークづくり」の3つを基本目標に掲げ、計画的に諸施策を推進しています。

本市は、現在約 50 のスポーツ施設を有しています。スポーツ施設全体で年間 80 万人を超える利用者があり、市民の健康増進、スポーツ活動の場として活発に利用されています。しかし、平成 27 年 3 月に策定した「出雲市公共施設のあり方指針」では、今後の施設運営について、効率的・効果的な施設運営が求められる中、建設から約 50 年が経過し、耐震性、安全性等に問題がある 3 体育館（出雲体育館、平田体育館、斐川第 2 体育館）については、廃止に向けた取組を行うこととなっています。

その一方、2 市 5 町が合併し 17 万都市となった本市にとって、人口規模に見合った市民のスポーツ活動の中心拠点がなく、市のスポーツ振興上必要であるとの声があります。

市では、こうした点を考慮しながら、この先何十年という長期的な視点に立ち、新体育館の整備に取り組むこととしたものです。

新体育館は、本市のスポーツ振興や、各種イベント開催、スポーツツーリズムなど交流人口の拡大を図る施設として、多くの市民から期待されており、本市にとってのビッグプロジェクトとして注目を浴びる施設でもあります。また、今後開催が想定される国民体育大会(国民スポーツ大会)の競技会場としての役割とともに、健康増進、福祉(バリアフリー等)、経済(コンベンション機能)、避難所機能という視点も求められています。

以上を踏まえ、市民に愛され、親しまれ、利用しやすい体育館として整備すべく、その整備方針を新体育館建設基本計画として取りまとめたものです。

2. 出雲市の体育館の現状と課題

本市には、市立体育館、学校体育館（廃校となった学校体育館を含む）のほか県立浜山体育館（カミアリーナ）があります。

市立体育館では、各種大会や各競技団体の練習など、地域のスポーツ活動の拠点として多くの市民に、学校体育館では、小中学校区のスポーツ活動の拠点として主に地域住民に利用されています。

その一方、県立浜山体育館（カミアリーナ）では、主に県大会をはじめ、中国大会、全国大会等の大規模な大会のほか、プロスポーツ等の会場として利用されています。

市立体育館については、表 2-1 のとおり、大部分が合併前の旧自治体において建設されており、配置に偏りがあり、建築後の経過年数、施設規模も様々となっています。

施設規模については、出雲体育館、平田体育館及び斐川第 1 体育館が、人口規模の大きかった合併前の旧自治体の拠点体育館として整備されたため、他の体育館と比較して規模が大きくなっています。しかし、これらは旧自治体の人口規模におけるものであり、2 市 5 町が合併し 17 万都市となった本市にとって、各競技の市大会を開催するには、施設の規模に課題があります。一方で、多様化する市民ニーズに対応するうえで新たな機能も求められています。

また、本市には県立浜山体育館がありますが、土日祝日には中国大会や県大会等規模の大きい大会が集中し、ほとんど空きがない状態であり、市の拠点体育館としての役割を担うことは困難です。

こうした中、今後の公共施設のあり方については、少子高齢化に伴う人口減少など、社会環境の変化に対応するため効果的・効率的な施設運営に取り組んでいく必要性があり、体育館についても同様に考えていく必要があります。

また一方で、競技スポーツのほか、健康づくりや生きがいづくりを目的とした生涯スポーツなど、多様化する市民ニーズへの対応や、コンベンション機能や避難所機能など、多用途型施設のあり方について検討していく必要があります。

表 2-1 市内の主な体育館の概要

名称	建築年	延床面積	階数	構造	体育館 利用者数 (平成 30 年度)
① 出雲体育館	昭和 36 年	4,769 m ²	4 階	鉄筋コンクリート造	27,047
② サン・アビリティーズいずも	昭和 62 年	1,950 m ²	2 階	鉄筋コンクリート・ 一部鉄骨造	26,905
③ 上塩冶スポーツセンター	平成 26 年	738 m ²	1 階	鉄骨造	17,364
④ 古志スポーツセンター	平成 17 年	1,779 m ²	2 階	鉄筋コンクリート・ 一部鉄骨造	24,369
⑤ 出雲西部体育館	昭和 62 年	1,078 m ²	2 階	鉄筋コンクリート造	13,407
⑥ 平田体育館	昭和 43 年	3,063 m ²	2 階	鉄筋コンクリート造	32,386
⑦ 佐田スポーツセンター	昭和 52 年	1,817 m ²	2 階	鉄骨造	7,944
⑧ 多伎体育館	昭和 56 年	1,774 m ²	1 階	鉄筋コンクリート造	6,549
⑨ 多伎勤労者体育センター	平成 2 年	810 m ²	1 階	鉄筋コンクリート造	3,719
⑩ 多伎健康増進センター	平成元年	446 m ²	1 階	鉄筋コンクリート造	3,227
⑪ 湖陵体育センター	平成元年	1,297 m ²	1 階	鉄筋コンクリート造	6,897
⑫ 大社健康スポーツ公園	平成 16 年	805 m ²	1 階	鉄骨造	16,235
⑬ 斐川第 1 体育館	昭和 55 年	2,769 m ²	2 階	鉄筋コンクリート・ 一部鉄骨造	44,062
⑭ 斐川第 2 体育館	昭和 44 年	1,725 m ²	2 階	鉄骨造	25,358
⑮ アクティーひかわ体育館	平成 6 年	1,205 m ²	1 階	鉄筋コンクリート造	23,951
⑯ 県立浜山体育館 (カミアリーナ)	平成 15 年	10,178 m ²	2 階	鉄筋コンクリート造	81,537

3. 新体育館整備の必要性

市内体育館には前述のような課題があることから、本市のさらなるスポーツ振興を図ることや、多様化する市民ニーズに対応するためには「17万都市にふさわしい市民のスポーツ活動拠点」としての規模と機能を持った新体育館整備が必要です。

また、新体育館建設については、「新たな出雲の國づくり計画『出雲未来図』」及び「出雲市スポーツ推進計画」において、次のとおり位置付け進めていくこととしています。

3.1. 新体育館整備の位置付け

(1) 新たな出雲の國づくり計画『出雲未来図』（平成24年度～令和3年度）

新たな出雲の國づくり計画『出雲未来図』は、斐川町との合併を契機に策定された「出雲市・斐川町新市基本計画」を基本とし、「げんき、やさしさ、しあわせあふれる縁結びのまち 出雲」をまちづくりの将来像とし、これを実現するための6つの基本方策と4つの戦略プロジェクトを掲げています。

後期基本計画（平成29年度～令和3年度）では、基本方策「環境・文化都市の創造」において、スポーツの振興（スポーツがあふれるまちづくり、スポーツを担う人づくり、スポーツを支えるネットワークづくり）を柱としており、スポーツ環境の充実として、新体育館の建設に取り組むこととしています。

(2) 出雲市スポーツ推進計画（平成28年度～令和3年度）

出雲市スポーツ推進計画は、「21世紀出雲スポーツのまちづくり条例」に基づくものであり、かつ、新たな出雲の國づくり計画「出雲未来図」の下位計画に位置付けられます。

『「夢を育み、人を結び、まちが輝く」スポーツ文化都市・出雲の創造』を基本理念とし、「1.スポーツがあふれるまちづくり／2.スポーツを担う人づくり／3.スポーツを支えるネットワークづくり」の3つの基本目標の下、スポーツの振興・発展を図るものです。

基本目標の1つである「スポーツを支えるネットワークづくり」の基本方針のもと、スポーツ環境の充実として、新体育館の建設に取り組むこととしています。

3.2. その他の関連計画等

新体育館整備にあたっては、次に記載した国のスポーツ基本計画や本市の上位関連計画に留意した基本コンセプト・基本計画を作成し、体育館の整備運営を行います。

- スポーツ基本法（平成23年6月 法律第78号）
- スポーツ基本計画（平成24年3月 文部科学省）
- 第2期スポーツ基本計画（平成29年3月 文部科学省）
- 第7期 出雲市高齢者福祉計画・介護保険事業計画
（平成30年3月 出雲市）

-
- 第2次出雲市健康増進計画・第3次出雲市食育推進計画
(平成30年3月 出雲市)
 - 第5期出雲市障がい福祉計画・第1期出雲市障がい児福祉計画
(平成30年3月 出雲市)
 - 出雲市地域省エネルギービジョン(平成20年2月 出雲市)
 - 第2次出雲市環境基本計画(平成25年3月 出雲市)
 - 出雲市都市計画マスタープラン(平成22年2月 出雲市)
 - 出雲市景観計画(平成26年3月 出雲市)
 - 出雲市地域防災計画(平成29年6月 出雲市)
 - 出雲市公共施設等総合管理計画(平成28年3月 出雲市) 等

4. 建設予定地

4.1. 敷地概要

新体育館の建設予定地は、市の中心部に近く、主要幹線道路からのアクセス道が整備されており、一畑電車の結節点である川跡駅も近くにあることから利便性が高く、また島根県立大学出雲キャンパスと隣接していることから、以下のように当大学とハード・ソフト両面での相互連携が期待できます。

また、新体育館は、各種大会等の開催を想定し駐車場を 400 台程度確保することや、北山や田園風景と調和した出雲らしさに配慮した景観形成に努めるほか、市民の憩い・やすらぎの場等を設けるなど、一定の敷地を確保する必要があります。本建設予定地周辺は農地が広がっており、敷地の確保が図りやすく、また将来的に必要なが生じた場合の追加拡張も可能です。

【期待できる島根県立大学出雲キャンパスとの連携】

■ハード面

- 県立大学の駐車場（約 200 台）の相互利用
- 県立大学の体育館・運動場の利用

■ソフト面

- 県立大学の学生等による新体育館を活用した市民のためのイベントの開催等
- 医療・健康管理系のイベント開催
 - 健康教室・介護予防教室等の開催
 - タウントレッキング（まち歩き）の開催
 - 避難所の運営支援 等

表 4-1 建設予定地概要

所在地	〒693-0073 島根県出雲市西林木町地内
敷地面積	31,700 m ²
用途地域	用途地域指定なし
建蔽率	70%
容積率	200%
規制	・ 景観形成地域 ・ 農業振興地域
災害発生時の想定	・ 想定浸水高 0.5～3.0m (隣接する島根県立大学出雲キャンパスは指定避難所)
交通アクセス	・ 一畑電車 川跡駅から徒歩 8 分 ・ J R 出雲市駅から車 11 分

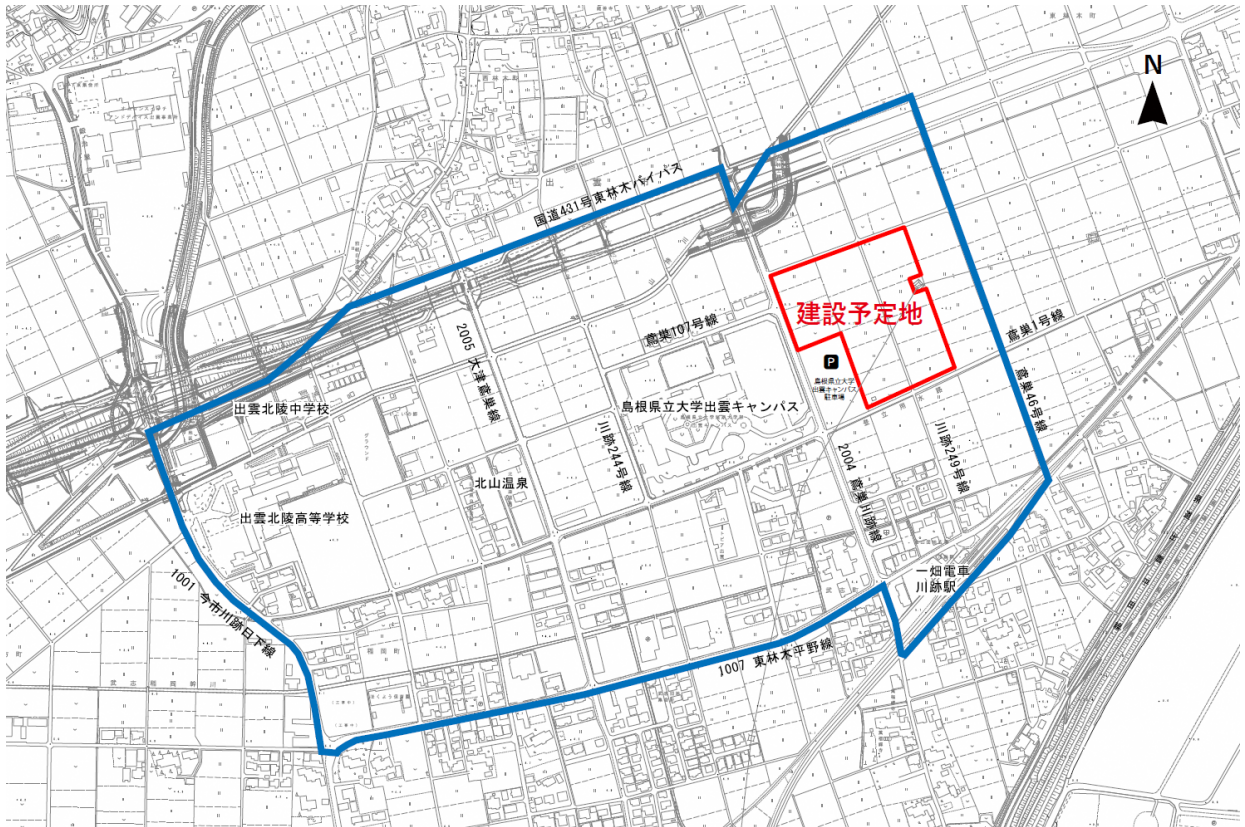


図 4-2 建設予定地位置図

— 建設予定地
— 景観形成地域



図 4-3 建設予定地

5. 基本コンセプト

以上のことから、新体育館は、市民が気軽にスポーツ、体力づくりができ、市大会等が開催できる、市の拠点体育館として整備します。

新体育館整備にあたっては、「出雲市スポーツ推進計画」（平成 28 年 5 月）の基本理念である『「夢を育み、人を結び、まちが輝く」スポーツ文化都市・出雲の創造』やその他の関連計画等の内容を踏まえ、次の 7 つを基本コンセプトとします。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">(1) 「スポーツをする」体育館(2) 「スポーツをみる」体育館(3) 「スポーツをささえる」体育館(4) 「市民が集う」体育館(5) 「人や環境にやさしい」体育館(6) 「景観に配慮した」体育館(7) 「多用途使用に配慮した」体育館 |
|---|

(1) 「スポーツをする」体育館

新体育館はプロスポーツや大規模な大会を行う県立浜山体育館との役割分担を行い、「17 万都市にふさわしい市民のスポーツ活動拠点」として子どもから高齢者まで、様々な世代の市民が主体となってスポーツをすることができる体育館として整備します。このことにより、スポーツをすることによる健康増進とメンタルケア、市民交流の機会の増加が期待できます。

また、身近な市民のスポーツ活動拠点として、多様化する市民ニーズへの対応や、市民がライフステージに応じ日常のスポーツや健康づくりに気軽に使用でき、また市大会など一定規模の大会開催が可能な体育館とします。

(2) 「スポーツをみる」体育館

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催もあり、スポーツが盛り上がりを見せています。スポーツの人を引き付ける力、影響する力は大きく、スポーツを観ることによりスポーツの楽しさを発見し、自らが「スポーツをする」機会を創出します。また、スポーツをする人だけでなく、観る人にも配慮した体育館とします。

(3) 「スポーツをささえる」体育館

学校や関係団体等、スポーツ大会開催等に携わる人々が情報発信できる場を設けることで、他の地域や総合体育館等とのネットワークの強化が期待できます。出雲市全体のスポーツを盛り上げる場のひとつとして、出雲市体育協会など、市民のスポーツ活動を支える人（団体）の拠点としての体育館とします。

(4) 「市民が集う」体育館

スポーツ関係者のみならず、多くの市民が利用できる体育館である必要があります。スポーツのほか、健康づくり、憩い安らぎ等の場として、子どもから高齢者まで多くの市民が集う体育館とします。

(5) 「人や環境にやさしい」体育館

新体育館は、子どもから高齢者、障がい者、すべての人が使いやすい体育館である必要があります。バリアフリー化やユニバーサルデザインの導入に努めるとともに、省エネルギー化に努めるなど、人や環境にやさしい体育館とします。

(6) 「景観に配慮した」体育館

建設予定地である島根県立大学出雲キャンパス周辺は、景観形成地域であり、「北山を背景とした出雲らしい田園風景と調和した新しいまちづくり」を基本目標に、地域が持つ豊かな景観の保全への取組を推進しています。このような出雲らしさに配慮しながら調和を図ったデザイン、駐車場の緑化等外構にも配慮した体育館とします。

(7) 「多用途使用に配慮した」体育館

市内には展示会や商談会などが開催できるコンベンション施設が不足していることや、全国的に大規模災害が頻発していることを踏まえ、新体育館では大空間を有する特徴を活かし、スポーツ以外にも学会や各種団体の会議、展示会等、さらに災害時の避難所など、可能な限り多用途に使用しやすい体育館とします。

6. 施設の構成と想定規模

6.1. 実施種目

市内の体育館において使用されている競技種目のほか、各種ニュースポーツ、レクリエーションスポーツに対応できるよう配慮します。

6.2. 施設の構成と想定規模

県立浜山体育館との役割分担を踏まえ、市民の日常的なスポーツ活動や健康づくりの拠点にするとともに、市大会等が開催できるような施設とします。また、体育館の利用方法として、市民のスポーツ活動拠点としての機能をメインとしつつ、可能な範囲で、各種団体の会議、展示会、災害時の避難所等に活用できるように整備します。

なお、現時点では、新体育館の構造は2階建てとし、延床面積は、廃止対象3体育館の延床面積の合計（約9,500 m²）以内を想定しています。

(1) メインアリーナ

メインアリーナは、市民の日常的なスポーツ活動や健康づくりのほか、市大会など一定規模の大会の開催を想定し、バスケットボール、バレーボールの公式コートが、それぞれ同時に2面確保できる広さとして、50m×40m（2,000 m²）程度とします。

天井高は、バレーボールを実施するうえで支障がない高さである12.5m程度とします。

また、市民が利用しやすく、かつ、多くの方が利用できるよう、防球ネット等を設置し、分割利用ができるようにします。

観客席は、試合などの観覧・応援、選手の休憩・待機場所として利用することから、過去の市大会等の開催実績を踏まえ、1,000席程度の固定席を確保します。また、それ以外にも観覧スペースを確保します。

(2) サブアリーナ

市民の日常的なスポーツ活動やメインアリーナでの大会開催時の試合会場・アップ会場としての利用を想定し、サブアリーナを設置します。バスケットボール、バレーボールの公式コートが、1面確保できる広さとして、40m×30m（1,200 m²）程度とします。

天井高は、メインアリーナと同様に、バレーボールを実施するうえで支障がない高さとして、12.5m程度とします。

また、メインアリーナと同様に、防球ネット等を設置し、分割利用ができるようにします。

2階に観覧スペースを確保します。

(3) 多目的室

エアロビクス、ダンス、ヨガ、軽運動など多様なスポーツニーズに対応できるほか、健康・介護予防教室などにも利用できる部屋として、多目的室を設置します。この部屋は少人数利用にも対応できるよう、分割利用できる構造とします。また、各種会議や研修会などにも活用できるスペースとします。

(4) 会議室・大会役員室

各種会議・研修会や大会時に利用できる会議室・大会役員室を設置します。また、様々なニーズに対応できるよう、分割利用できる構造とします。

(5) ランニングコース

大会時のアップや特に雨天時、冬季など日頃の市民のスポーツ活動等に利用できるランニングコースを設置します。

(6) 更衣室・ロッカー・シャワー室

利用者の利便性を向上させ、施設を快適に使用できるように、メインアリーナやサブアリーナ、多目的室等の位置関係を考慮しながら、更衣室・ロッカー・シャワー室を設置します。

(7) 器具庫・倉庫

各種競技に必要な備品等を収納するための器具庫・倉庫をメインアリーナやサブアリーナなど各諸室の配置を考慮しながら確保します。

(8) キッズルーム・授乳室

子育て世代が安心してスポーツに取り組むことができ、親と子どもの交流を促進するために、キッズルーム・授乳室を設置します。

(9) 休憩スペース・物販コーナー

利用者が休憩でき、市民が憩う場として、休憩スペースを確保します。休憩スペースには、自動販売機等物販コーナーの設置が考えられます。

(10) エントランスホール・ロビー

施設の顔として開放感があり、スポーツに関する資料展示など情報発信機能も有するオープンなスペースを確保します。

また、大会開催時には選手の待機場所として、またイベント開催時には展示スペースなど多様な利用ができるよう、可能な限り広い空間を確保します。

(11) 放送室

各種大会やコンベンション利用を想定し、放送室を設置します。

また、様々な利用を想定し、全館及び部屋単位での放送ができるようにします。

(12) 医務室

利用者のケガなどの処置を行うため、医務室を設置します。

(13) 事務室

施設の管理等を行うため、事務室を設置します。

6.3. 屋外機能

(1) 駐車場・駐輪場

駐車場は、1,000 席程度の観客数を考慮し、400 台程度を想定します。さらに隣接する島根県立大学出雲キャンパス（駐車場）との相互利用を検討します。

また、駐輪場も設置します。

(2) 緑地・憩いの広場

敷地内には、植栽など緑地帯を設け景観に配慮するほか、市民の憩い・やすらぎの場、大会開催時のウォーミングアップの場、またイベント時には体育館と一体的に活用できる賑わいの場となるスペースを確保します。

6.4. 付随する機能

新体育館は、市民のスポーツ活動拠点としての機能をメインとしつつ、可能な範囲で次のような機能を付加します。

(1) 避難所機能

大人数の収容が可能なことから、避難所として位置付けます。

避難所として必要となる、避難者の食糧や資機材及び備品等を保管する備蓄倉庫を確保します。

なお、避難所運営にあたっては、島根県立大学出雲キャンパスとの連携を検討します。

(2) コンベンション機能

コンベンション機能については、大規模な会議や展示会などが開催できるようにします。また、ステージや大型搬入口の設置のほか、音響に配慮します。

(3) その他

成人式や選挙開票所の利用についても検討します。

表 6-1 施設構成と想定規模

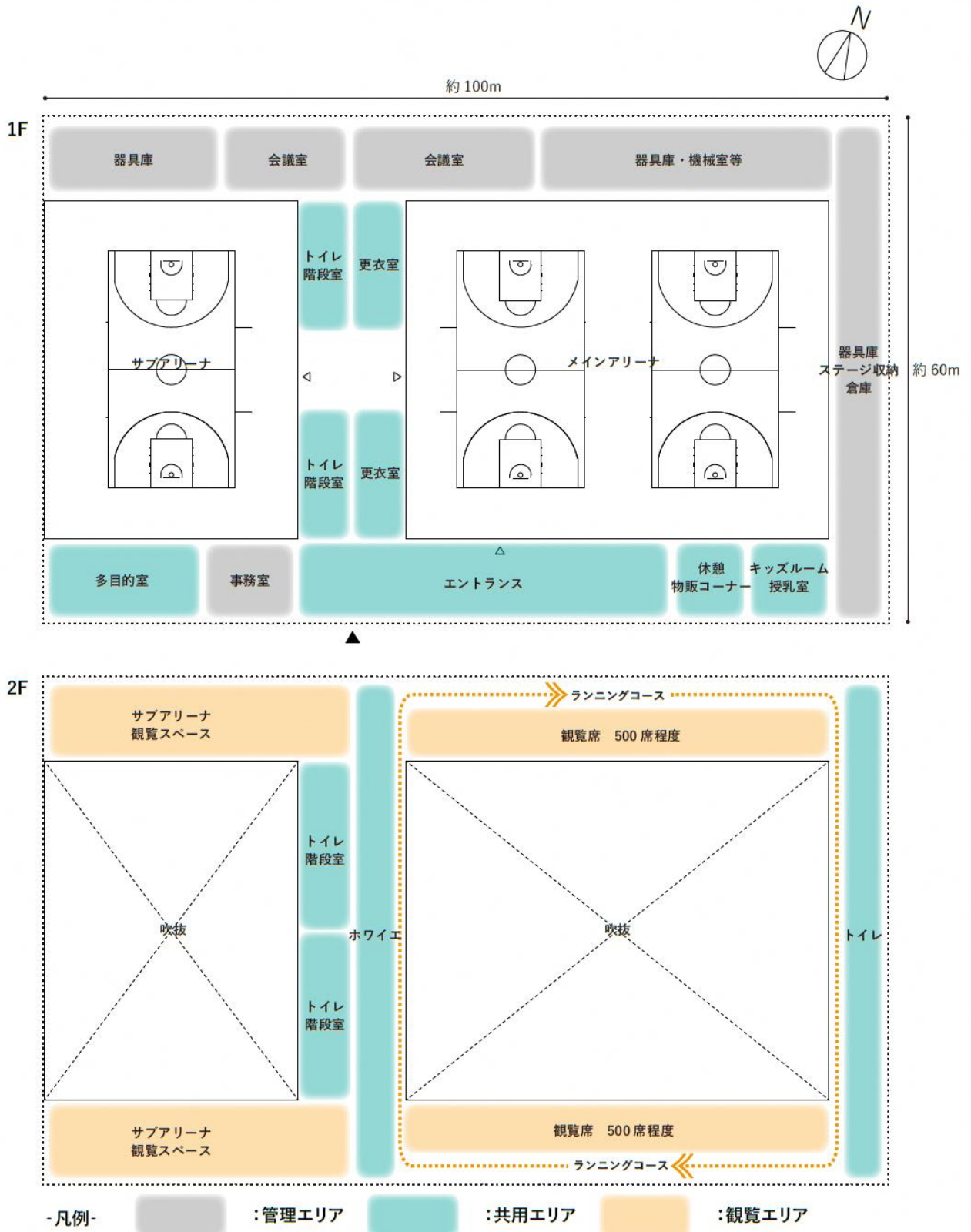
室名	想定規模等
メインアリーナ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50m×40m (2,000m²) 程度 ・ バレーボール 2 面、バスケットボール 2 面、バドミントン 10 面 ・ 天井高 12.5m 程度 ・ 観客席 1,000 席程度
サブアリーナ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 40m×30m (1,200m²) 程度 ・ バレーボール 1 面、バスケットボール 1 面、バドミントン 6 面 ・ 天井高 12.5m 程度
多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ・ エアロビクス、ダンス、ヨガ、軽運動、健康・介護予防教室、各種会議や研修会などに利用
ランニングコース	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日頃の健康増進や大会時のウォームアップに利用
更衣室・ロッカー・シャワー室	<ul style="list-style-type: none"> ・ メインアリーナやサブアリーナ、多目的室等の位置を踏まえた場所に設置
器具庫・倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・ メインアリーナやサブアリーナなどにバレーボールやバスケットボール、バドミントン等に使用される備品を収納
キッズルーム・授乳室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授乳室や幼児の遊び場となるキッズルームを設置
会議室・大会役員室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大会役員室、スポーツ指導者やスポーツボランティアの各種研修や一般に利用できる会議などに利用
休憩室・物販コーナー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動販売機等物販コーナーを併設した休憩スペースを設置
エントランスホール・ロビー	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツに関する資料展示など情報発信機能を有するオープンなスペースを設置
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医務室、放送室、事務室等管理関係諸室、バリアフリー対応多機能トイレ、エレベーターなどを設置 ・ 冷暖房設備
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 400 台程度を想定

7. 施設基本計画

7.1. ゾーニング・動線計画

新体育館の機能、各諸室のゾーニングは下図を想定しています。

※下図はイメージであり、今後詳細設計により変更となる場合があります。

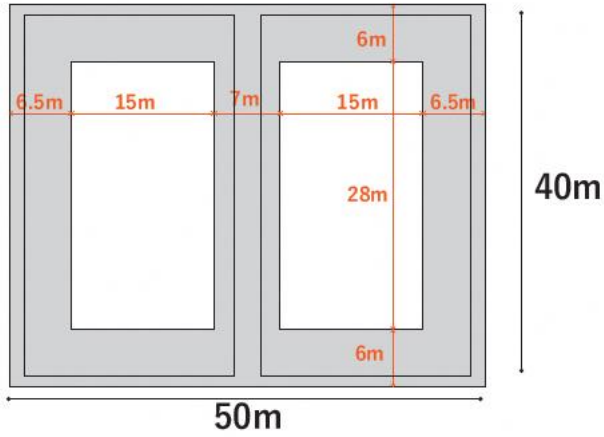


7.2. コートレイアウト

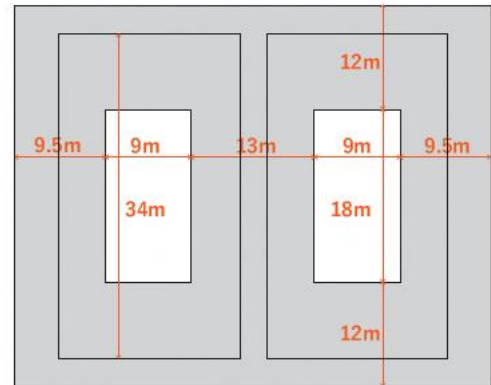
メインアリーナ、サブアリーナのコートレイアウトは、下図を想定しています。

◆メインアリーナ（球技）

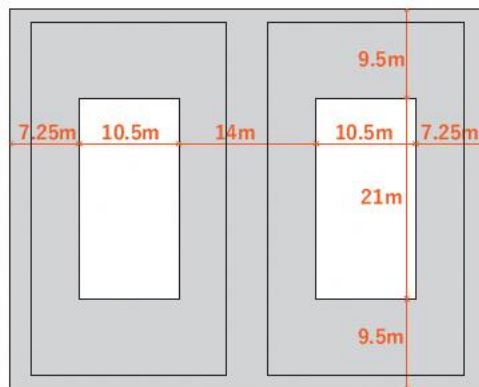
①バスケットボール 2 面



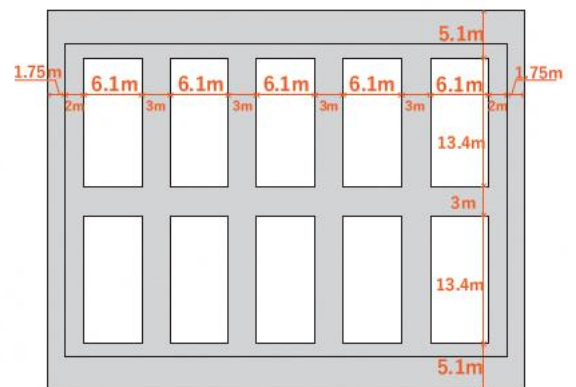
②6 人制バレーボール 2 面



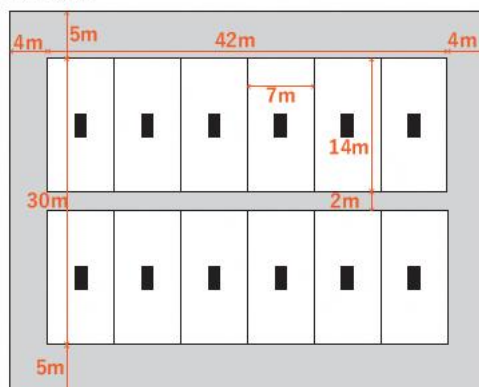
③9 人制バレーボール 2 面



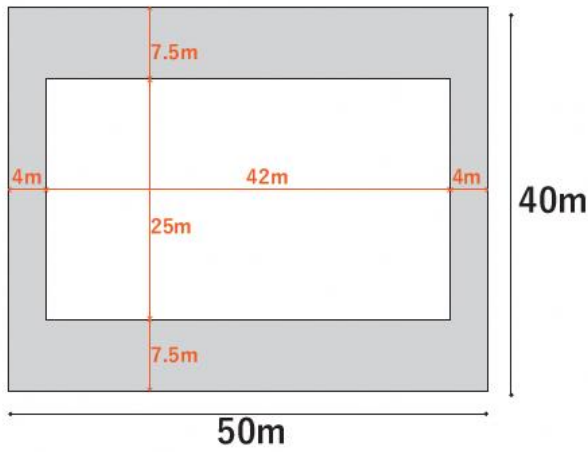
④バドミントン 10 面



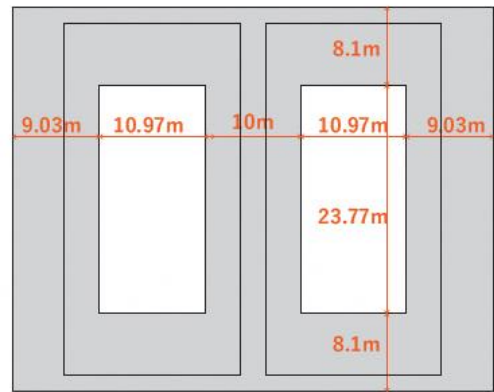
⑤卓球 12 面



⑥フットサル1面

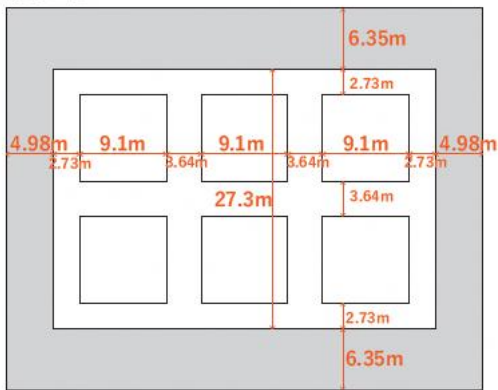


⑦テニス2面

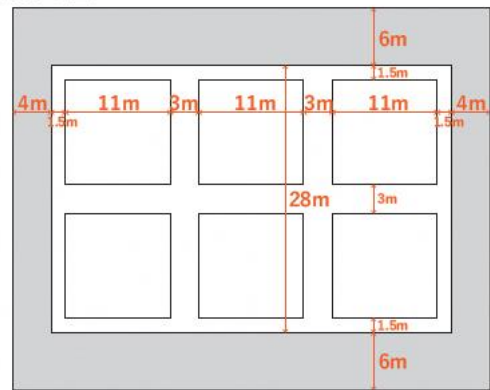


◆メインアリーナ（武道）

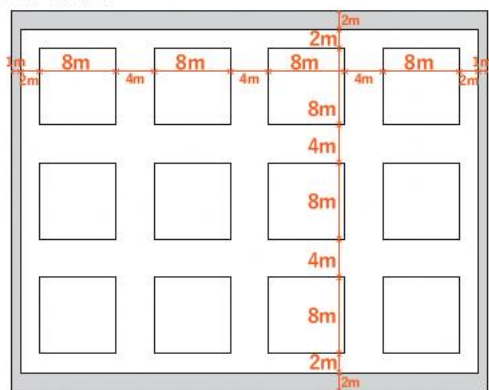
⑧柔道6面



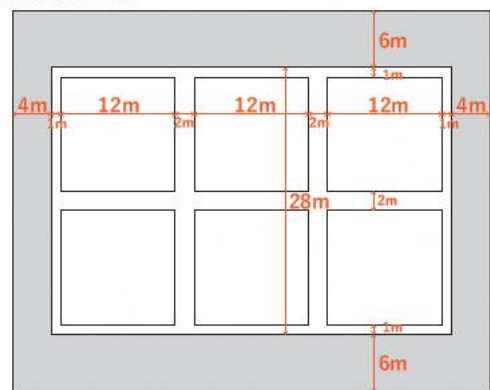
⑨剣道6面



⑩空手12面

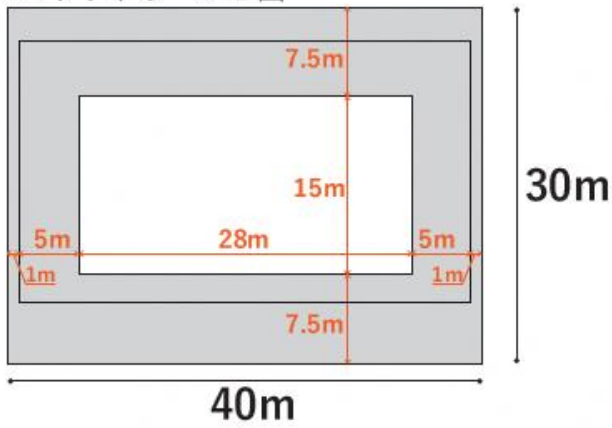


⑪なぎなた6面

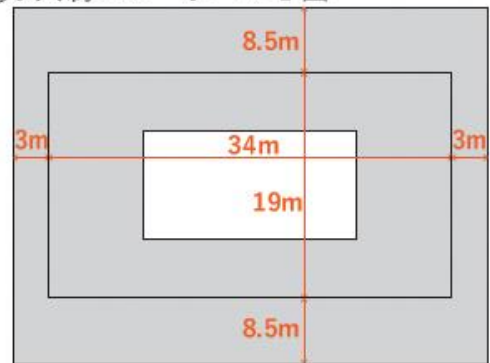


◆サブアリーナ（球技）

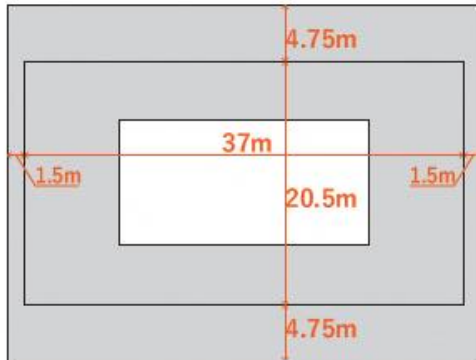
①バスケットボール1面



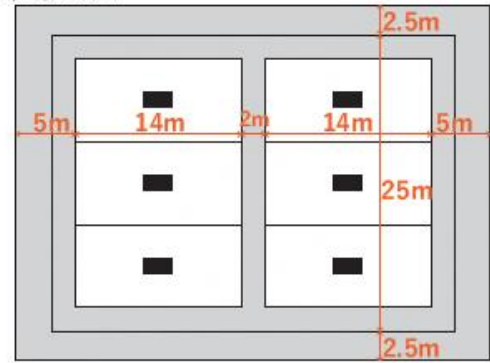
②6人制バレーボール1面



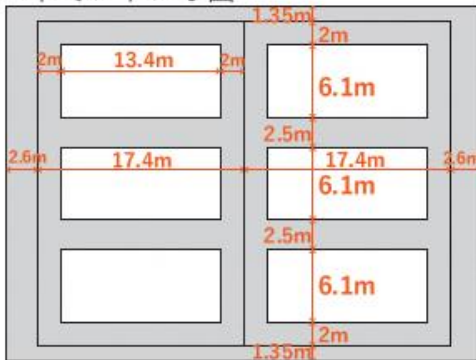
③9人制バレーボール1面



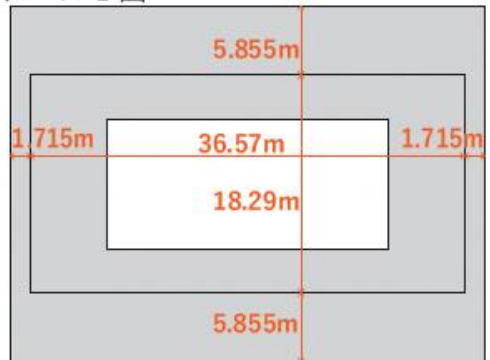
④卓球6面



⑤バドミントン6面

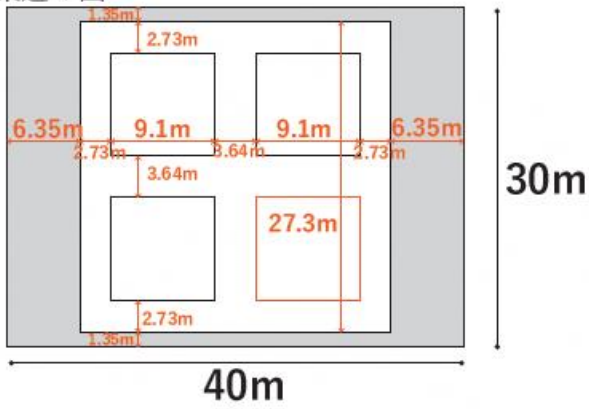


⑥テニス1面

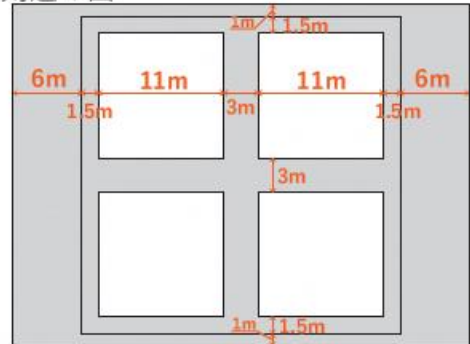


◆サブアリーナ（武道）

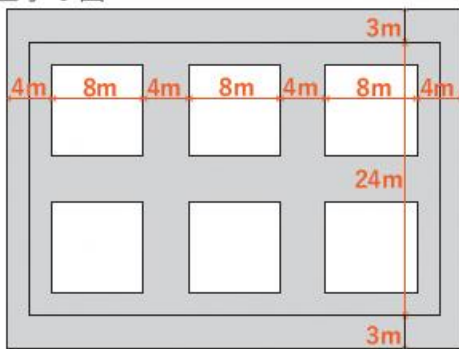
⑦柔道 4面



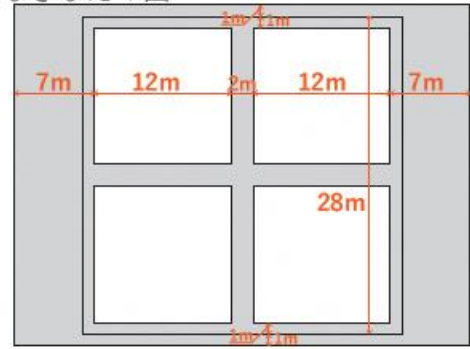
⑧剣道 4面



⑨空手 6面



⑩なぎなた 4面



7.3. 構造計画

(1) 造成工事

整備予定地については、想定最大規模の洪水時に体育館が浸水しない高さを確保するため、前面道路との高低差 2.0m 程度の造成を行います。

(2) 耐震性能等

「出雲市地域防災計画」より、避難所の構造条件は、

- ① 耐震化がなされていること。
- ② 地震災害に対し強固なコンクリート構造物等であり、開設時に安全性が確認された施設。
- ③ 被災者等を受け入れ、又は生活関連物資を被災者等に配布することが可能な構造又は設備を有するものであること。

とあります。整備にあたってはこれらの条件に留意します。

また、構造体の耐震安全性の目標は下表の「官庁施設の総合耐震・対津波基本計画基準」による耐震安全性の分類よりⅡ類、非構造部材は A 類、建築設備は乙類を採用し、災害時の安全性を確保します。

表 7-1 耐震安全性の分類

部位	分類	耐震安全性の目標
構造体	Ⅰ類	地震動後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られるものとする。
	Ⅱ類	大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られるものとする。
	Ⅲ類	大地震動により構造体の部分的な損傷は生じるが、建築物全体の耐力の低下は著しくないことを目標とし、人命の安全確保が図られるものとする。
建築非構造部材	A 類	大地震動後、災害応急対策活動等を円滑に行ううえ、又は危険物の管理のうえで支障となる建築非構造部材の損傷、移動等が発生しないことを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られるものとする。
	B 類	大地震動により建築非構造部材の損傷、移動等が発生する場合でも、人命の安全確保と二次災害の防止が図られていることを目標とする。
建築設備	甲類	大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られているとともに、大きな補修をすることなく、必要な設備機能を相当期間継続できることを目標とする。
	乙類	大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られていることを目標とする。

(出典：官庁施設の総合耐震・対津波基本計画基準)

7.4. 設備計画

(1) 競技への配慮

a) 照明設備

- ・ 照明については、屋内競技に必要な照度を確保するとともに、競技に影響が出ないように、設置位置等に配慮します。

b) 空調設備

- ・ 全館冷暖房完備とし、卓球、バドミントン等の屋内競技に影響がなく、利用状況に応じて快適に利用できる設備を採用します。

c) 放送設備

- ・ 放送設備については、様々な利用を想定し、全館及び部屋単位での放送ができるようにします。

(2) 省エネルギーへの配慮

- ・ 電力負荷の低減及び平準化に配慮し、可能な限り省エネルギー設備を導入します。
- ・ 高効率照明器具、施設部位に応じた点灯方式等により、照明エネルギーの最小化を図ります。
- ・ アリーナ以外の諸室では、自然光の活用による、照明負荷の低減を図ります。
- ・ 信頼性が高く、適正な運転管理が可能な管理システムの構築及びエネルギー消費の見える化により、消費エネルギーの最小化を目指します。

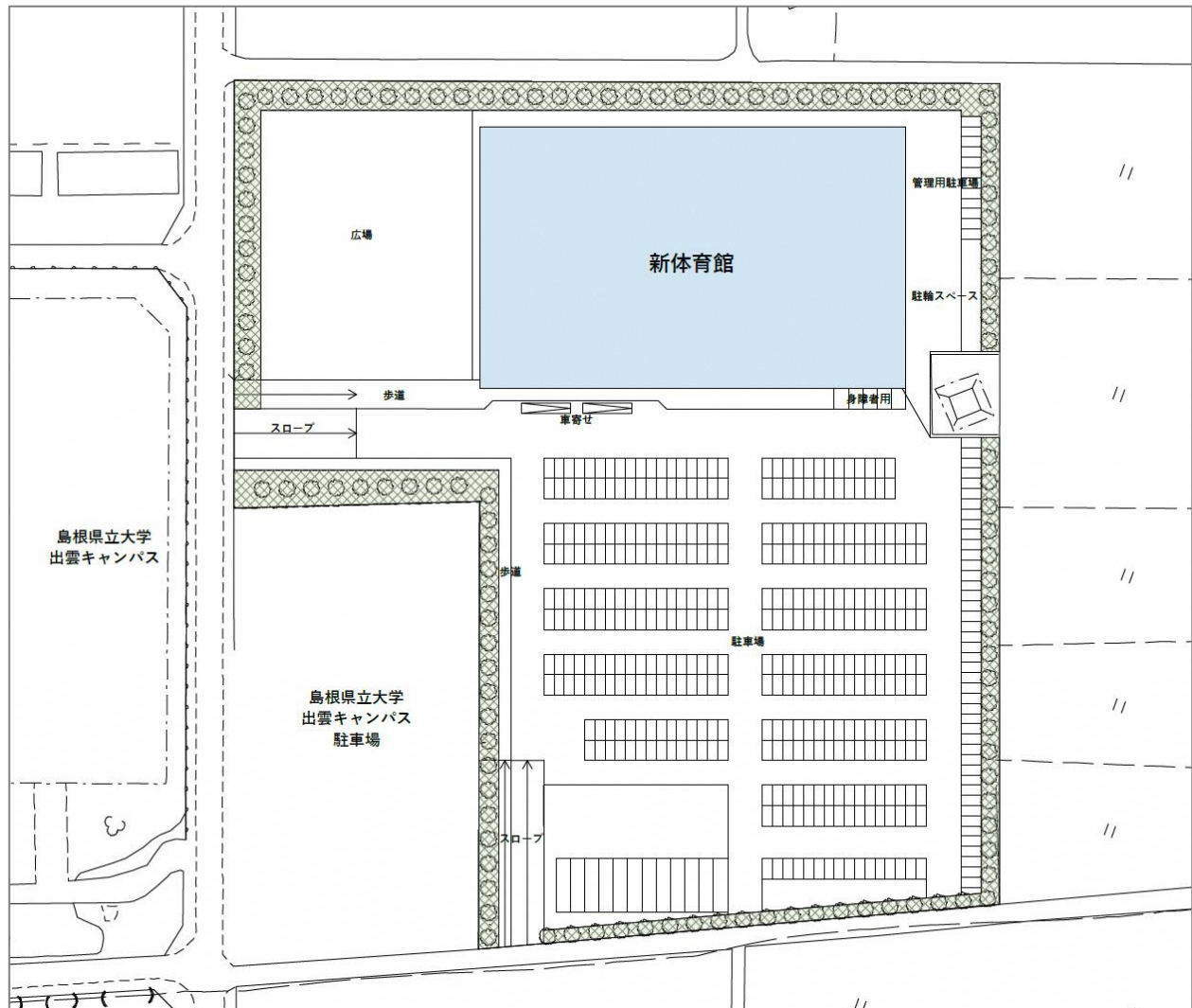
(3) メンテナンスへの配慮

- ・ 合理的な耐久性が確保されたものであるとともに、メンテナンスが容易なものを採用します。
- ・ メンテナンスが容易に行えるよう、適切な作業スペースの確保をします。また、設備、機械室の配置に配慮します。
- ・ 周辺景観及び騒音に配慮した配置、対策を行います。
- ・ 洪水時に浸水しないよう、屋外機のキュービクル等は2階以上に設置します。

7.5. 土地利用計画

土地利用計画は、下図を想定しています。

下図はあくまでもイメージであり、今後詳細設計により変更となる場合があります。



7.6. 整備イメージ

下図はあくまでもイメージであり、今後詳細設計により変更となる場合があります。

■鳥瞰パース



■南側からみたアイレベルパース



7.7. アクセス

車でのアクセス、また、島根県立大学出雲キャンパス、一畑電車川跡駅が近いことから、自動車、自転車、歩行者の動線に配慮し、誰もが安全に来館できるよう動線に配慮します。



- 凡例 -

車両 →
歩行者 - - - - -

7.8. 概算事業費

新体育館建設に係る現段階での概算事業費は次のとおりです。

引き続き経費縮減に努めつつ新体育館建設を進めていく考えです。

なお、この概算事業費は、今後の設計や、資材・労務費の変動等により変更となる可能性があります。

表 7-2 イニシャルコストの概算

項目	費用
委託費	約 2.6 億円
建設工事費	約 41.5 億円
造成・外構整備費	約 9.1 億円
その他	約 4.8 億円
イニシャルコスト（計）	約 58 億円

8. 運営方針

8.1. 管理運営方針

17 万都市にふさわしい施設となるよう、利用者にとって安全・安心に利用できる施設となるよう努めます。また、効率的な施設管理・運営を行い、経費削減を図ります。

一般の利用率が高い夜間等には、メインアリーナを 3 面利用するなど、できるだけ多くの方が利用できるよう運用します。

出雲市の核となる体育館として、スポーツだけでなく、これまで既存施設では実施できなかった市のイベント等を開催します。

8.2. 維持管理・運営費

ランニングコストについては、他市の類似施設の状況を踏まえ、約 0.9 億円程度を想定しています。

9. 事業手法

近年、国が民間活力の導入を目指し、地方公共団体に対しても「多様な PPP/PFI 手法導入を優先的に」検討するための指針を示すなど、新体育館の建設にあたっては、従来型手法のほか P F I 手法等も含め検討する必要があります。

事業手法の決定にあたっては、それぞれのメリット・デメリットのほか、事業成立のための諸条件、事業スケジュールなど十分調査したうえで、今後決定することとします。

10. 事業スケジュール

供用開始は、令和 6 年（2024）春頃を予定しています。なお、スケジュールは今後変更となる場合があります。

表 10-1 事業スケジュール

設計・建設期間	2021 年 7 月～2024 年 2 月（32 か月）
開業準備	2024 年 3 月～2024 年 4 月（2 か月）
供用開始	2024 年 5 月

令和元年（2019）9月

出雲市

新体育館建設基本計画（概要版）

1. はじめに

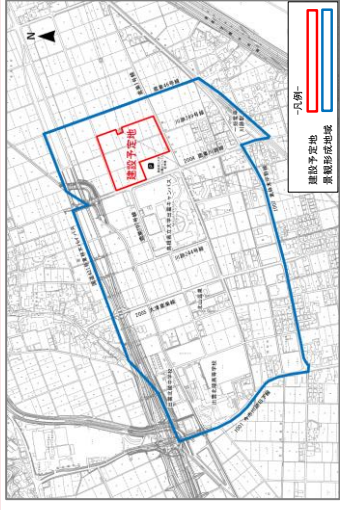
出雲市は、現在約50のスポーツ施設を有しており、スポーツ施設全体で年間80万人を超える利用者がいます。しかし、平成27年3月に策定した「出雲市公共施設のあり方指針」では、建設から約50年が経過し、耐震性、安全性等に問題がある3体育館（出雲体育館、平田体育館、斐川第2体育館）については、廃止に向けた取組を行うこととなっています。

その一方、2市5町が合併し17万都市となった本市にとって、人口規模に見合った市民のスポーツ活動の中心拠点が必要であるとの声があります。

2. 建設予定地

新体育館の建設予定地は、市の中心部に近く、主要幹線道路からのアクセス道が整備されています。一畑電車の結節点である川跡駅も近くにあることから利便性が高い場所です。

また、鳥根県立大学出雲キャンパスと隣接していることから、下記の様に本大学とハード・ソフト両面での相互連携が期待できます。



所在地	〒693-0073 鳥根県出雲市西林木町地内
敷地面積	31,700 m ²
用途地域	用途地域指定なし
建蔽率・容積率	70%・200%
規制	景観形成地域・農業振興地域
災害発生時の想定	想定浸水深0.5～3.0m
交通アクセス	一畑電車川跡駅から徒歩8分・JR出雲市駅から車11分

鳥根県立大学出雲キャンパスとの連携

■ハード面

・県立大学の駐車場（約200台）の相互利用、県立大学の体育館・運動場の利用

■ソフト面

・県立大学の学生等による新体育館を活用した市民のためのイベント、医療・健康管理系のイベント、健康教室・介護予防教室、タウンントレッキング（まち歩き）等の開催

・避難所の運営支援 等

3. 基本コンセプト

(1) 「スポーツする」体育館

県立浜山体育館の役割分担を行い、「17万都市にふさわしい市民のスポーツ活動拠点」として子どもから高齢者まで、様々な世代の市民が主体となってスポーツをすることができると期待しています。

(2) 「スポーツをみる」体育館

スポーツをする人だけでなく、観る人にも配慮した体育館とします。

(3) 「スポーツをささえる」体育館

出雲市全体のスポーツを盛り上げる場のひとつとして、出雲市体育協会など、市民のスポーツ活動を支える人（団体）の拠点としての体育館とします。

(4) 「市民が集う」体育館

スポーツのほか、健康づくり、憩い安らぎ等の場として、子どもから高齢者まで多くの市民が集う体育館とします。

(5) 「人や環境にやさしい」体育館

バリアフリー化やユニバーサルデザインの導入に努めるとともに、省エネルギー化に努めるなど、人や環境にやさしい体育館とします。

(6) 「景観に配慮した」体育館

景観形成地域であることから、北山を背景とした出雲らしい田園風景に配慮しながら調和を図ったデザイン、駐車場の緑化等外構にも配慮した体育館とします。

(7) 「多用途使用に配慮した」体育館

スポーツ以外にも学会や各種団体の会議、展示会等、さらに災害時の避難所など、可能な限り多用途に使用しやすい体育館とします。

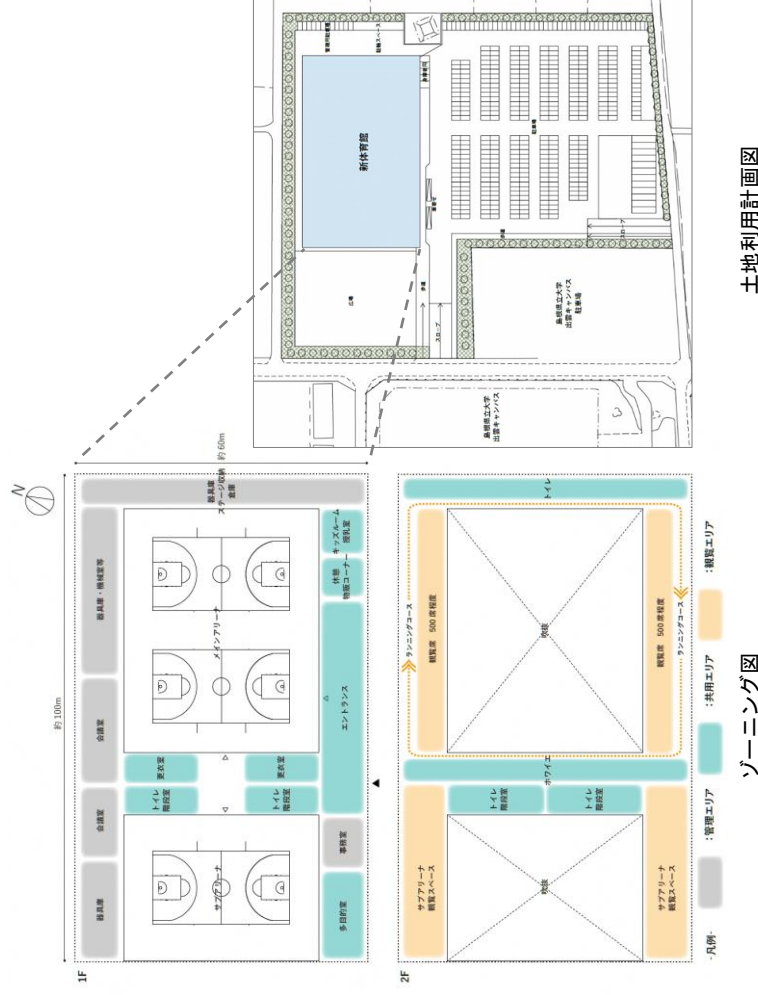
4. 施設の構成と想定規模

メインアリーナ	<ul style="list-style-type: none"> ・50m×40m（約2,000m²）程度 ・バレーボール2面、バスケットボール2面 ・天井高12.5m程度 ・観客席1,000席程度
サブアリーナ	<ul style="list-style-type: none"> ・40m×30m（約1,200m²）程度 ・バレーボール1面、バスケットボール1面 ・天井高12.5m程度
多目的室	<ul style="list-style-type: none"> ・運動教室や各種会議、研修会に利用 ・健康増進や大会時のウオームアップに利用 ・各機能の配置を踏まえ設置する
ランニングコース	<ul style="list-style-type: none"> ・アリーナで実施する競技備品を収納 ・授乳室、幼児の遊び場
更衣室・ロッカー・シャワー室	<ul style="list-style-type: none"> ・一般利用も可能な会議室 ・自動販売機等物販コーナーを併設した休憩スペース
器具庫・倉庫	<ul style="list-style-type: none"> ・資料展示等情報発信機能を有するオープンスペース
キッズルーム・授乳室	<ul style="list-style-type: none"> ・医務室、放送室、事務室等管理諸室 ・エレベーター ・冷暖房設備
会議室・大会役員室	<ul style="list-style-type: none"> ・400台程度
休憩室・物販コーナー	
エントランスホール・ロビー	
その他	
駐車場	

5. 施設基本計画

ゾーニング・土地利用計画

下図はあくまでもイメージであり、今後詳細設計により変更となる場合があります。



ゾーニング図

土地利用計画図

構造計画

整備予定地については、想定最大規模の洪水時に体育館が浸水しない高さを確保するため、前面道路との高低差2.0m程度の造成を行います。

また、避難所として災害時の安全が確保できる構造とします。

設備計画

競技への影響、省エネルギー、メンテナンスに配慮した設備を採用します。

6. 整備イメージ ※下図はあくまでもイメージです。



■鳥瞰パース

■南側からみたアイレベルパース

7. 概算事業費

新体育館建設に係る現段階での概算事業費は次のとおりです。

なお、今後の設計や、資材・労務費の変動等により変更となる可能性があります。

委託費	約2.6億円
建設工事費	約41.5億円
造成・外構整備費	約9.1億円
その他	約4.8億円
イニシャルコスト（計）	約58億円

8. 運営方針

管理運営方針

17万都市にふさわしい施設となるよう、利用者にとって安全・安心に利用できる施設となるよう努めます。また、効率的な施設管理・運営を行い、経費削減を図ります。

維持管理・運営費

ランニングコストについては、他市の類似施設の状況を踏まえ、約0.9億円程度を想定しています。

9. 事業手法

近年、国が民間活力の導入を目指し、地方公共団体に對しても「多様なPPP/PFI手法導入を優先的に」検討するための指針を示すなど、新体育館建設にあたっては、従来型手法のほか、PFI手法等も含め検討する必要があります。

事業手法の決定にあたっては、それぞれのメリット・デメリットのほか、事業成立のための諸条件、事業スケジュールなど十分調査したうえで、今後決定することとします。

10. 事業スケジュール

供用開始は、令和6年春頃を予定しています。

設計・建設期間	2021年7月～2024年2月（32か月）
開業準備	2024年3月～2024年4月（2か月）
供用開始	2024年5月

1. 本事業における事業手法

本事業は従来手法だけでなく、民間活力を導入した手法も視野にいれ、より効果的な手法を採用したいと考えています。

民間事業者のノウハウを効率的に活用することが可能な手法として、DB 手法、DBO 手法、PFI 手法があります。いずれの手法も交付金や事業債の適用が可能です。

表 1 事業手法の整理

	従来手法	DB 手法	DBO 手法	PFI (BTO) 手法
設計	分離発注	一括発注	一括発注 (指定管理者)	一括発注 (指定管理者)
施工	分離発注			
運営	分離発注 (指定管理者)	分離発注 (指定管理者)		
施設所有	市	市	市	市
資金調達	市	市	市	民間

(1) 従来手法

市が民間事業者に設計、施工、維持管理・運営の各業務を分離して発注する方式です。建設に必要な資金は全て市が準備します（交付金・地方債等の特定財源と一般財源）。

(2) DB 手法

施設の設計と施工を一括で発注する方式であり、設計企業、建設企業の互いのノウハウや新技術の活用による相乗効果が期待できます。建設に必要な資金は全て市が準備します（同上）。運営業務は別途、指定管理者を選定します。

(3) DBO 手法

施設の設計・施工・運営を一括して発注する方式であり、設計企業、建設企業、運営企業が互いにノウハウを活用することで、施設・運営品質の向上やコスト削減が期待できます。建設に必要な資金は全て市が準備します（同上）。

また、従来の指定管理者（基本 5 年）と比べ長期間（15～20 年）の運営業務を行うこととなり、民間の経営力やノウハウ、アイデアの発揮が期待されます。

(4) PFI (BTO) 手法

施設の設計・施工・運営を一括して発注する方式であり、設計企業、建設企業、運営企業が互いにノウハウを活用することで、施設・運営品質の向上やコスト削減が期待できます。建設資金の一部を民間事業者（SPC [※1：P5]）が調達するため、財政負担の平準化 [※2：P5] を図ることができ、また金融機関によるモニタリング [※3：P5] 機能がはたらくことから、事業の安定的な継続も図ることができます。

また、DBO 手法と同様に、従来の指定管理者と比べ長期間（同上）の運営業務を行うこととなり、民間の経営力やノウハウ、アイデアの発揮が期待されます。

2. 各手法の比較

各方式を比較した結果、設計・施工・維持管理・運営を一括で発注する DBO 手法や PFI 手法においては、トータルコスト削減やリスク移転が可能であり、民間ノウハウの積極的な活用が図られると考えられます。

一方、従来手法、DB 手法の採用した場合は、より地元企業の参画や経済効果を発揮することが考えられます。

表 2 各手法の比較

比較項目	従来手法	DB 手法	DBO 手法	PFI 手法
コスト削減効果	× 分離発注となるため、効果は期待できない。	△ 設計・施工については、一括発注により、コスト削減が期待できる。	○ 設計・施工・維持管理・運営を一括で発注することにより、コスト削減が期待できる。	
リスクの移転	× 公共がほとんどのリスクを所有している。	△ 設計・施工と維持管理・運営が別発注となるため、事業全体の包括的なリスクの民間移転ができない。	○ 設計・施工・維持管理・運営の一括発注により、設計の不備による工事費増や、性能不足による設備の変更、維持管理・運営費の増額等、各種リスクが移転可能となる。	
民間ノウハウの活用	× 市が主体的に実施するため、民間ノウハウ活用の余地は限定的。	△ 設計・施工と維持管理・運営が別発注となるため、ノウハウの活用範囲が部分的になる。	○ 施設整備・維持管理・運営において各種民間ノウハウの活用が可能となる。	
事業の継続性	○ 基本的に単年度発注であり、民間事業者の経営破たん等による事業中止リスクは少ない。	○ 従来発注と大きな違いはない。	× 金融機関のモニタリング等が無いため、事業の進捗状況等について第三者による監視が働かない。	○ 金融機関のモニタリング等により、事業の進捗状況等について第三者による監視が働く。
地元企業の参画・地元経済効果	○ 従来の発注方式であるため、多くの地元企業参画が予想され、地元への経済効果が期待できる。	○ SPC 組成や資金調達の手間がないため、多くの地元企業参画が予想され、地元への経済効果が期待できる。	△ 異業種とのグループ組成が必要なため、地元企業参画のハードルとなる。 ○ 資金調達は必要なく、従来手法や DB 手法と同様であり、手間はかからない。	× SPC 組成や資金調達の手間が発生するため、地元企業参画のハードルとなる。 △ 事業者選定時に地元企業の参画が優先されるようにすることで、地元経済に配慮することができる。

3. 民間意向調査

(1) 民間事業者の参画可能性について

新体育館の事業手法検討にあたり、体育施設に係る PFI 事業実績を有する事業者を対象に、本事業への参画可能性のある市外の建設企業、運営企業に、本事業に対する意見や要望を調査しました。(アンケート対象者 20 社中 18 社が回答)

PFI 手法・BTO 方式での実施が、事業参画しやすく望ましいとする意見や、事業参画の可能性があると回答した事業者が多く、高い関心が確認できました。

選択肢	建設企業	維持管理 ・運営企業
イ) 非常に興味があり参画したい	1 社	3 社
ロ) 興味があり、現時点での参画可能性は高い	1 社	-
ハ) 条件が合えば参画可能性はある	8 社	1 社
ニ) 興味があるが、現時点での参画可能性は低い	-	-
ホ) 参画することは困難である	-	-
計	10 社	4 社

(2) 地元建設企業の参画可能性について

地元建設企業を対象に、アンケート調査を実施しました。本事業の実施については、多くの地元企業の参画、地元への経済効果を期待することから、従来手法が望ましいとする意見が多く寄せられました。

① 第 1 回アンケート調査結果

地元建設企業を対象にした本事業の説明会実施後に、「PFI 意向調査アンケート」を配布した。説明会を受け、現時点での PFI 事業への意向を確認しました。(アンケート対象者 19 社中 14 社が回答)

Q. 本事業が PFI となった場合に参画可能性はありますか?	
ある	3 社
ない	11 社

② 第 2 回アンケート調査結果

概算事業費が決定した段階において、再度、地元建設業協会へのアンケート調査を行い、事業への参画意向を確認しました。(アンケート対象者 47 社中 20 社)

Q. 事業内容(別紙参照)を確認いただき、PFI 事業として実施した場合、参画方法①～⑤において、最も参画意欲が高いものに○を記入ください。	
①SPC の代表企業として参画する	1 社*
②SPC の構成員として参画する	5 社
③SPC の協力企業として参画する	3 社
④SPC の下請企業として参画する	2 社
⑤PFI 事業として実施した場合参画は難しい、又は参画できない	9 社

※ 1 社複数回答

4. VFM (Value For Money) の検討結果

従来手法と比較した場合の財政負担の縮減割合 (VFM) は、次のとおりです。なお、VFM 算出にあたり、起債については次の 2 パターンで算出しました。

- (1) 「公共施設等適正管理推進事業債」を活用
- (2) 令和 3 年度まで「公共施設等適正管理推進事業債」、令和 4 年度以降は「学校施設整備事業債」を活用

(1) の場合の VFM 算定結果

項目	従来手法	DB 手法	DBO 手法	PFI 手法 (BTO)
総事業費 (千円)	4,808,526	4,419,209	4,483,757	4,518,821
差額	-	389,317	324,769	289,705
VFM	-	8.1%	6.8%	6.0%

(2) の場合の VFM 算定結果

項目	従来手法	DB 手法	DBO 手法	PFI 手法 (BTO)
総事業費 (千円)	4,862,955	4,468,514	4,543,632	4,553,433
差額	-	394,441	319,323	309,522
VFM	-	8.1%	6.6%	6.4%

5. 本事業で適用する事業手法について

VFM が出たことから、従来手法よりも DB・DBO・PFI (BTO) 手法が財政的に優位と考えられます。

また、出雲市のスポーツ振興に資する、より質の高い公共サービスを提供するには、設計・建設・維持管理・運営を一括発注し、運営者が設計段階から関わり、利用面での充実を図ることができ、また供用開始時からスムーズな維持管理・運営が図れる、DBO・PFI (BTO) 手法が DB 手法よりも適していると考えられます。

さらに公共施設として、事業の継続性は重要であり、DBO・PFI (BTO) 手法においては 15～20 年の長期契約になることから、DBO 手法よりも金融機関によるモニタリング機能が働く PFI (BTO) 手法が適していると考えられます。また、PFI (BTO) 手法では民間資金を活用することから、市の財政負担の平準化を図ることもできます。

以上のことから、現時点では PFI (BTO) 手法が出雲市に適していると考えます。

なお、PFI (BTO) 手法を採用するにあたっては、地元企業の積極的な参画や地元経済活性化が図れるようにすることが不可欠となります。事業者を選定する段階では、地元企業の参画や地元雇用が促進される事業条件を設定していく必要があります。

【用語解説】

※1 SPC (Special Purpose Company) とは

当該、PFI 事業を行うことだけを目的として設立される特別目的会社。設計・施工・維持管理・運営等にあたる、各事業者により組織される。

※2 財政負担の平準化とは

従来手法の場合、建設に必要な資金は全て市が準備します（交付金・地方債等の特定財源と一般財源）。

しかし、PFI (BTO) 手法の場合、事業に必要な資金について、市は交付金や地方債部分を準備し、民間事業者 (SPC) はこれ以外の事業に係る資金を金融機関から調達（借入）します。よって、この建設資金の一部をSPCが金融機関から借り入れるため、市の一般財源の支出はありません。この民間事業者が借り入れたものに対し、市は事業期間（15～20年）で分割して支払うため、財政負担の平準化を図ることができます。

※3 金融機関によるモニタリング（監視機能）とは

PFI (BTO) 手法の場合、上記のとおり事業に必要な資金について、市は交付金や地方債部分を準備し、民間事業者 (SPC) はこれ以外の事業に係る資金を金融機関から調達（借入）をします。

このことから、金融機関はこの民間事業者 (SPC) によりPFI事業が円滑に行われ、この借入金の返済に支障が無いかどうか、融資期間を通じてモニタリングを行うこととなります。モニタリングは、民間事業者 (SPC) の財務状況や事業運営状況等について行われ、場合によっては改善指導等も行われます。

よって、市・金融機関の両者による多面的なモニタリングを行うことが可能となり、事業の安定的な継続を図ることができます。

新体育館建設に関するこれまでの経過について

【平成27年度】

開催日	会議等	内 容
H28. 2. 22	市議会本会議	施政方針において「新体育館の整備のあり方についても、検討を進めます」と表明（P4:※1）

【平成28年度】

開催日	会議等	内 容
H28. 5		「出雲市スポーツ推進計画」策定 ○新体育館建設を明記（P4:※2）
H28. 6. 17	文教厚生委員会	○「出雲市スポーツ推進計画」の策定について
H28. 6. 27	全員協議会	〃
H29. 2～3	アンケート調査	（目的）新体育館の規模、機能等に関するニーズ調査 （対象）市体協加盟競技団体 44 団体（回答：33） 小・中・高体連 27 団体（回答：23） 身障者福祉協会 1 団体（回答：1） 定期利用団体 237 団体（回答：109） 実施期間中の利用者 1,850 団体（回答：504） （ 合 計 ） 2,159 団体（回答：670）
H29. 3		新たな出雲の國づくり計画「出雲未来図」後期基本計画策定 ○新体育館建設を明記（P4:※3）
H29. 3. 2	文教厚生委員会	○新体育館建設の検討状況について（第1回中間報告） ・基本コンセプトについて ・実施種目について ・規模・機能について
H29. 3. 15	全員協議会	〃

【平成29年度】

開催日	会議等	内 容
H29. 9. 11	文教厚生委員会	○新体育館建設の検討状況について（第2回中間報告） ・事業スケジュールについて ・建設候補地について
H29. 9. 27	全員協議会	〃
H30. 3. 13	文教厚生委員会	○新体育館建設の検討状況について（第3回報告） ・新体育館建設地の最適地の決定について （島根県立大学出雲キャンパス周辺）
H30. 3. 23	全員協議会	〃

【平成30年度】

開催日	会議等	内 容
H30. 4. 6	地元説明会	北部活性化推進協議会 ○建設地決定に関する説明 ○今後のスケジュールについて
H30. 5. 9	地元説明会	地権者説明会 ○新体育館の検討状況について ○意向調査の実施について
H30. 6. 20	文教厚生委員会	○新体育館建設用地の決定について (島根県立大学出雲キャンパス東側)
H30. 6. 28	全員協議会	〃
H30. 9. 10	文教厚生委員会	○「新体育館建設基本計画」に係る出雲市スポーツ振興審議会への 諮問について
H30. 9. 27	全員協議会	〃
<u>H30.10.22</u>	<u>スポーツ振興審議会</u>	○「新体育館建設基本計画」の策定について(諮問) ○「新体育館建設基本計画(素案)」について ○審議会スケジュールについて
H30.11.2	全員協議会 (1か月前)	○「新体育館建設基本計画」の策定に係るスポーツ振興審議会の状 況について
H30.11.3 ~12.10	市民意見募集	○「新体育館建設基本計画(素案)」について(意見聴取)
H30.11.12	市体協説明会	〃
<u>H30.11.30</u>	<u>スポーツ振興審議会</u>	○現地視察(松江市総合体育館・県立浜山体育館)
H30.12.4	スポーツ推進協議会	○「新体育館建設基本計画(素案)」について(意見聴取)
H30.12.4	市民説明会	〃
H30.12.12	文教厚生委員会	○「新体育館建設基本計画(素案)」に係る審議状況について ○新体育館建設に向けたスケジュールについて
<u>H30.12.18</u>	<u>スポーツ振興審議会</u>	○「新体育館建設基本計画(素案)」に対する主な意見の検討に ついて
H30.12.20	全員協議会	○「新体育館建設基本計画(素案)」に係る審議状況について ○新体育館建設に向けたスケジュールについて
H31.1.20	地元説明会	○「新体育館建設基本計画(素案)」について ○今後のスケジュールについて
<u>H31.2.6</u>	<u>スポーツ振興審議会</u>	○「新体育館建設基本計画(修正案)」の審議

開催日	会議等	内 容
H31. 3. 8	文教厚生委員会	○「新体育館建設基本計画（案）」の策定状況について
H31. 3. 14	地元説明会	○「新体育館建設基本計画（案）」の策定状況について ○景観形成地域における新体育館建設について
H31. 3. 19	景観審議会	○新体育館を景観形成地域内に建設するに伴う 景観形成に関し配慮すべきこと等について
H31. 3. 20	全員協議会	○「新体育館建設基本計画（案）」の策定状況について
H31. 3. 26	スポーツ振興審議会	○「新体育館建設基本計画（案）」の審議 ○事業手法について

【 令和元年度 】

開催日	会議等	内 容
H31. 4. 15	文教厚生委員会 スポーツ推進協議会	○「新体育館建設基本計画」の審議状況について ○景観形成地域における新体育館建設について
H31. 4. 24	スポーツ振興審議会	○「新体育館建設基本計画（案）」の審議 ○概算事業費について ○PFIについて
R 1. 5. 13	全員協議会 (1か月前)	○「新体育館建設基本計画（案）」の策定状況について
R 1. 5. 29	スポーツ振興審議会	○「新体育館建設基本計画（案）」の審議 ○今後のスケジュールについて
R 1. 6. 21	総務委員会	○「新体育館建設基本計画（案）」について ○今後のスケジュールについて
R 1. 7. 2	全員協議会	〃
R 1. 7. 3 ～ 8. 1	パブリックコメント	○47名（内、団体2） 131件
R 1. 7. 10	シンポジウム (出雲青年会議所主催)	○「みんなで創ろう！出雲の未来」 ・新体育館ができるまで ・パネルディスカッション
R 1. 8. 20	スポーツ振興審議会	○パブリックコメントの実施結果・修正箇所について ○新体育館建設基本計画（答申案）について
R 1. 8. 22	スポーツ振興審議会	「新体育館建設基本計画」答申
R 1. 9		「新体育館建設基本計画」策定
R 1. 9. 10	総務委員会	○「新体育館建設基本計画」の策定について
R 1. 9. 25	全員協議会	〃

1. 資料掲載の各種会議等

(1) 出雲市スポーツ振興審議会	8回
(2) 出雲市議会関係	24回
○全員協議会	12回
○総務（文教厚生）委員会	10回
○文教厚生委員会・スポーツ推進協議会	1回
○スポーツ推進協議会	1回
(3) 出雲市景観審議会	1回
(4) 建設地地元説明会	9回
(5) その他	7回
○市民・体育協会等説明会	3回
○アンケート調査・意見募集	2回
○シンポジウム	1回
○パブリックコメント	1回

2. その他掲載していない会議等

(1) 市内部検討会議	25回
○政策調整会議	3回
○新体育館建設庁内検討委員会	10回
○ 〃 ワーキング	12回
(2) 建設地要望地区説明会	8回

【参 考】

※1 平成28年3月議会施政方針（平成28年2月22日）

スポーツの振興については、本年3月に策定予定の出雲市スポーツ推進計画に基づき、着実に実施してまいります。また、サッカーなどで年間を通じて効率的に使用できる、人工芝グラウンドの整備に取り組むとともに、新体育館の整備のあり方についても、検討を進めます。

※2 出雲市スポーツ推進計画（平成28年5月）

17万都市にふさわしい、また本市のシンボルとなるような新体育館の建設については、体育館が持つ機能や規模、建設場所などを検討し、早期の事業着手をめざします。

※3 新たな出雲の国づくり計画「出雲未来図」後期基本計画（平成29年3月）

スポーツ施設の長寿命化や効果的・効率的な施設運営に努めるとともに、新体育館の建設など、新たな施設整備にも取り組みます。